

旅がはてしない

作・広田淳一 2005年5月20日

出演

カサ	…記憶喪失の男。
チー	…あんまり喋らない女。
ジエット	…チーの友だち。
パイプ	…パイプを吸っている男。
ハッチ	…ミネストローネにいる若い女。
ヤブ	…無免許の医者
メニコン	…ヤブの助手。
ゴーグル	…ミネストローネにいる若い男。
産毛	…ミネストローネのとあるリーダー代行。
ケッタ	…ミネストローネの若きエース。
キュー	…よく憶えている女。
ヒカリ	…貧しい若い女。
甘栗	…自称・占い師。
ガクシヤ	…路上で研究を続ける男。
お役所	…役人。

【前提】

舞台を取り囲むように客席がある。

特に装置はない。10センチ未満の段差。舞台後方にガードレール。天上から吊りモノ。

音楽がかかっている。

音楽が大きくなっていった照明変化。

開演の雰囲気を観客が感じとれるように。

開演の少し前にチーが入ってきている。

【プロローグ】

真夜中の…迷路で雨宿り

染め明り。その中を傘を差してカサ登場。歩いている。

彼には連続した記憶がほとんどない。肉体的な連続性もない。

今の身体に入ったのもついこの間だ。

ただ、この場面において「新しい環境」になっているのは彼自身の身体ではなく、移動した「ミネストローネ」の方だ。

懐かしい、という感慨を無意識下に感じつつ、見覚えのない場所に彼は迷い込んでいる。何も思い出せない、という状態をいくく当たり前のものとして捉えている。彼は記憶や場所がリセットされてしまう感覚に随分前から慣れている。

カサ　どこだ今度は？

台詞の後、f.i.eで雨音。

チーが雨宿りをしている。壁沿いに立って視線は雨降る道。

カサ、チーの傍に足早に歩く。チーは今まで自分の居た場所をカサに譲る。

カサはいくく当たり前のようにチーの横に腰を降ろす。

チーが今まで居た場所より少しだけ外だから傘はたたまない。

カサ　雨降っているんですけど思いつくすんだけどさ……銀河鉄道999。哲郎がさ、あのちっさい

ガンマンみたいなヤツいたじゃん？ あいつが言ってただけど、雨が好きなんつうのは金持ちの言いつつだったって。一回でも道で導いたことあったら雨が好きなんて言える

わけないからって。そうなんだよな。アハハハ。うん、すげえわかるんだよ。

チーは基本的には喋らない。「喋れない」のではなご。

カサ 知りあいだよな？

チー (イエス)

カサ だよな。好きな雨？

チー (ノー)

カサ 嫌だよな。て、なんかしゃべってよ。そんな。

間。

カサ ごめん名前、なんだっけ？

チー (?)

カサ 喋れないんだっけごめん。……て謝る事もないか。ま、いいんだよな、そんなことは。

チー ……チー。

カサ チー、ね。喋れんじゃん。

チー (イエス)

カサ よくいるんだこの辺？

チー (イエス)

カサ また会ったらよろしく。

カサ、手を差し出す。チー、それに答えて握手する。

カサ じゃ俺の名前はなごでしよう？

チー (?)

カサ ひどいな忘れちゃった？

チー ……。

チー、カサを指さす。

カサ なに？ 何も出ないよそんなごに押ししても。アなに、カサ？

チー (イエス)

カサ、カサか俺。じゃ思い出すまではカサね。……絶対思い出してよ約束ね。

チー (イエス)

カサ んで思い出したら俺にも教えてよ。

チー (イエス)

カサ 番号知ってたっけ？

カサ、携帯を取り出してくる。

チー (ノー)

カサ じゃ、ホラ、入れといてよ。

とって携帯をチーに渡す。チーも携帯を取り出す。するん、

カサ あー、ちよつと見せて。「これ」ピチヨン「君じゃな。すげえ可愛い。じゃ、ピチヨンね。

チー・ピチヨン。これフルネーム。

チー チー・ピチヨン？

カサ そうそう。わかった？

チー (うんうん携帯返す。)

カサ ……ね本当は雨好きでしょ？

チー (え、嫌いだよ)

カサ だってずっと見てんじやな。

チー (んー……)

カサ ……実は、結構好きなんだよね。雨。……困るけどね。寒いし濡れるし。……濡れるしね

エ。好きなんだでしょ？

チー …… (イエス)

カサ じゃ、そう言えよ「ノヤロウ」(笑う)

チー、笑う。

カサ なに笑ってんだよ。

チー (笑ってませむ)

カサ あ、そう、違うの。笑ってんじやないんだ。

チー (うん)

カサ じゃあ……泣いてんの？

チー (そうそう。泣き真似)

カサ 笑ってんじやな。

チー、笑う。カサ、立ち上がる。

カサ 泣いてんのか。そういつ時せめぬめな。

そこへ傘を差したパイプが駆け込んてくる。
パイプ、パイプを取り出して、

パイプ 火貸してくんない？
カサ おお……？

パイプ、カサの顔を見て驚く。

パイプ よオ。

カサ お。

パイプ びっくりしたア……。おまえもココ来てたんだ。

カサ うん、ま、来たばかりでよくわかんないんだけど、え……つか、ごめん誰？

パイプ えっ？

カサ いや、ごめん、よくわかんなくなっちゃって……知り合いなんだよね？

カサだけ笑う。パイプは笑わない。

パイプ、カサの腕にあるインプラントを確認する。

パイプ なんだよ人違いかと思ったじゃねえか。お前も消したほっがいいよ。ほら。

と、言って腕の同じ場所を見せる。パイプの腕には何も無い。

パイプ 消さないと消されるぞ。……お前がな。なんつって。

カサ おつ。そう、消したほっがいいんだ。なにこれ？

パイプ インプラント。

カサ インプラント？

パイプ いろいろ大事なもん入ってたからなくすなよ。俺は取られないように（頭を指して）移植したからさ。

カサ ああ！……あれね。あれかア。ははは。誰これ？

チー （知らない）

パイプ （笑いきげで咳き込む）

カサ 大丈夫？ いや、本当にね、思い出せないんだわ。つか、だいたいのことは忘れてる。

パイプ そっか、忘れるのが仕事だったもんな。

カサ え？

パイプ 「忘却と再生」。

カサ 何？

パイプ そんじゃ行くわ。

カサ ああ。え？ あ、ごめん……。……悪いことしたな。

パイプ立ち上がって去る。少し離れた所から、

パイプ 元気でな。
カサ お前もな。
パイプ ……そりゃ無理だ。
カサ え？
パイプ もうすべし元気じゃなくなるから。
ケッタ いたぞー！ やっちまえおらァー！

音楽 in。

人がゾロゾロと勢い込んで入ってくる。

真夜中の…共犯者

キュー まず始まるのが一番最初に死んじゃうやつの話。正確に言えば死んじゃうはずのやつ。
ケッタ え？
キュー 今日は生き残るかもしんないから。
ケッタ 元気じゃなくなるっていつてた彼ね。
キュー そ、彼の話。彼はちよつと前まではサラリーマンだったんだけど、3ヶ月くらい前に株にハマってからあんまり会社にいかないようになって、1ヶ月前くらい前に一日の取引で1000万円、今のお金に換算すれば、
ケッタ 一億秒、
キュー つまり？

ケッタ 3年と2ヵ月、9時間16分4秒
キュー ぐらい儲かったんだって。で、結局イスに坐ったまんまで3ヶ月で30億秒も稼いだってわけ。簡単に説明しておくけど30億秒ってのは3億回ってことね。

ケッタ 1日が86400秒。
キュー ゼロ1個とついで86400円。
ケッタ 大体日給ってそんなもんだな。
キュー そう、こじこじじゃ命の単位がお金の単位になつてんの。
ケッタ 30億秒？ やつてらんねえなめ、そいつの話聞くと。

キュー うらやましいぞ？
ケッタ そりゃね。でも、人生狂っちゃうよね。
キュー ま、元々狂ってるんだけどね。
ケッタ そうなの？
ケッタ サラリーマンになる前の話もいろいろあるんだけどそれはまた後で。
キュー 勿体つけるね。

ま、ゆっくりね。で、仕事なんか当然やめちゃって、よせばいいのにお薬なんか凝りだしちゃって今じゃ片時もパイプを放せないってわけ

ケッタ 名前ななしつのにじつしっ？
 キュー どうしてもよくなえ？
 ケッタ いやいやいけど、不便じゃんなんか。
 キュー 人に尋ねる前に名を名乗れ。
 ケッタ ですよ。
 キュー どうぞよろしくケッタ君。
 ケッタ よろしくね。
 キュー じゃ、仮にパイプ、って呼ぶじつにじつしつかな。
 ケッタ パイプ。なんど？
 キュー パイプ吸ってるから。
 ケッタ わかりやしー。あんたの名前は？
 キュー あたしキュー。
 ケッタ キュー、なんど？
 キュー クエスチョンのキュー。
 ケッタ なんだよそれ。
 キュー パイプはそれから、出会う系だのお見合ひパイプだの賣しつじつしつを辿って「あの道」にたどり着くために時間を費やした。
 ケッタ ミネストローネ。
 キュー そう「あの道」。「パイプ」で見つけたハッチってキミに案内してもらって、よめやへそこを辿りつひ。
 ケッタ おめでつひ、だけど、
 キュー 数時間後にはしょうもない連中に体中引っこ抜かれてバラバラにされちゃう。
 ケッタ ま、しょうもないな。俺も含めて。
 キュー 1章のタイトルはちょっと長めで「餌を取り合ってバタつく鳥達はダンスを踊っているよめやを見えぬ」。

挿、SE。

【1】 餌を取り合っつてバタバタして帰りはダンスを踊っつておしゃべり

№ 1 狂騒の騒音

道案内

道案内：「ふべちり食入放題」

ハッチ、パイプ、登場。

パイプ 君は、よへ行へのももごう、

ハッチ ちっ？

パイプ なんだあの、ふべちり食入放題っ？

ハッチ 行かないよ。なななっ？

パイプ や、慣れた感じだったから。

ハッチ 嘘、初めただよ。

パイプ そっちなだ。

ハッチ でもすげえつまかったあ

パイプ あねべらごちよけねほごしよせ。

ハッチ 嘘？ かなり豪華だったじゃんだった。ううん？

パイプ いうよ。

ハッチ やった……。

パイプ 代わりにあのさ、ちよっつあめ、の、ごっつちもなごっつつか、交遊ごっつか、うーん、まあちよっつ頼みごっつ、頼みごっつあねだせ……

ハッチ なにっ？

パイプ あの、道、なんだけびむ、その、そごいる人をのつけたまんま移動しちゃう、って道があるらしいんだけど、知っつてっ？

ハッチ 「ミネストローネ」のじよっ？

パイプ あ、そっ。知っつてっ？ え、そねほ、む、むごうじよなっ？

ハッチ 音楽かかっつて。

パイプ 他にほ？

ハッチ いう「ト」なんじゃない？ いうはい面白ごう入っ。

パイプ 行った事あるんだ？

ハッチ 行くっつ言っつか、住んでる、みたいな？ 普段はあごちごう。

パイプ そっ。

ハッチ じゃあ……、連れてっつてあげまごうか？

パイプ ホントにっ？

ハッチ あんたホント面倒くさいね。

パイプ だからどうやって話を聞いてもらうのにな、お金払わなくちゃいけない。

ハッチ ぶひ

パイプ ……いらいをスバットいってね

ハッチ じめえ。

パイプ いや、いいんだけどね、別に全然悪い感じはしなかったし。なんかお礼とかしたほうが

いいかな？

ハッチ いいよ。奢ってもいいよ。

パイプ でも……あそび？

ハッチ うん。

パイプ 俺じゃなくても奢ってくれる人はたくさんいるんじゃないの？

ハッチ だから何？

パイプ だからつまり……、君はあれだね特に性格がいいね。

ハッチ あんた、ヘンな人だね。

パイプ あ、そう。ヘン？ヘンかな？

ハッチ うん。

パイプ なんだったらあれだよ、あげるよ、あの、俺の時間を。

ハッチ おー……。ありがた。

パイプ うん。じゃあ、そうだね、うん、50年分あげる。

ハッチ はあ？いらないよそんなに。何いってんの？

パイプ いやいや、君にもらって欲しいんだよ。うん。

ハッチ 何やる気なへんってんの？50年？10億秒以上あんじゃない？え？

パイプ いーのいーの。俺には必要ないから。もらってほしいんだよ、どうせなら性格のいい

二人、ちょっと笑う。

ハッチ じゃあもじっし。

パイプ ありがた。うん、行く。

ハッチ うん。

曲。二人、移動。

この時点で人がぞろぞろ出てきて二人の周りを囲む。

ジエット その道は面白い。

カサ 暮れなほ夏の夕暮れあの夕焼けの、

キュー アスファルトぬれ始める時のあの臭い。

産毛 あのその道の道は

ジエット 面白い。

パイプ こんな感じで坐ってればいいの？

ハッチ うん。シャッフルになるまでもうちょっと待ってて。

パイプ うん。……この坐っている人たちがみんなミネストローネに行くの？

ハッチ 同じところ行くわけじゃないよ。ミネストローネってのは「場所」じゃないから。パイプ 場所じゃないの？

ハッチ あっちこっちにミネストローネの巡回コースってのがあってね、

パイプ うん

ハッチ 何干とか、結構数あるらしいんだけど、あ、ほら、なんかすごい沢山兄弟いる、姉妹都市みたいなき感じだね。

パイプ ああ……。

ハッチ で、このもそのーし。そのーの全部ひっくるめてミネストローネって呼んでるの。パイプ システムにつけられた名前だっことか。

ハッチ そう、かな？

パイプ じゃ、このみんなは「道」に行くの？

ハッチ ーン。わりとバツけると思うよ。それぞれイメージした人が居る「道」にたどり着くから。

パイプ 行き先はわかんないんだ？

ハッチ わかんない。だってあたしのイメージする人も移動しているでしょ？

パイプ そうなんだ。

ハッチ で、シャッフルされてシャッフルされてその人と同じところ行くの。

パイプ じゃ、ハッチはハッチの知り合いのところに行くの？

ハッチ そうそう。思い出してね。

パイプ え、じゃ俺は誰をイメージしたらいいの？

ハッチ あたしに決まってるんじゃない。

パイプ そっか。

ハッチ 大丈夫、そんな難しくないから。一緒に行きたいと思っててくれれば大抵平気。

パイプ わかった。

ハッチ で、合図したら立つ。何それ、煙草？パイプ好きなの？

パイプ え、うん。

ハッチ あ、パイプ君名前教えてよ。

パイプ パイプ君でいいよ。

ハッチ あそう。

パイプ、それには答えず、間。

望を持つ訳でしょ？

ハッチ これそんな大したもんじゃないよ。約束でつけてるだけ。

パイプ 約束？ なんの？

ハッチ っー？ いろいろ忘れないようにさ。その時の気持ちを。だから友達と3人でつけたんだもん。

パイプ そういつのわかるよ、俺も一時期トリオででっかい仕事してたからさ。

ハッチ じゃ、向こうついたらあたしの友達紹介してあげよっか？

パイプ いいね。あれ、雨降ってきちゃったね。

ハッチ いいのいいの。あ、静かにしてて、音楽聞えないから。

パイプ え、なんなの？

ハッチ もつすべ「ミネストローネ」が来る時間

照明、音響？

パイプ 聞いてくれよハッチ。

ハッチ え？

パイプ だけどトウゴウは言ってたんだ、あの絵は失敗だったって。「ミネストローネ」ってのは人間の体もっている曲線美ってものがどこまで分解可能かってことの一つの実験だったんだ。だけ、ビジキの皮膚だけ取り出しても誰もそれを「肌」とはわかってくれないわけでしょ？ 当然、肩や胸が必要になってくる。そうなるって、今度は胸の曲線が不完全なことが気になってしまっ。

ハッチ 何の話？

パイプ 結局、人間の部分を描く為には人間全体を描く必要があって、さらに言えば、一人の間を書くためには多くの人間とつながっている姿を描かなくちゃいけない、つまりは「キーン」分の美しさを表現するためにも宇宙一一つのキャンバスが絶対的に必要になってくる。

ハッチ ちよつとは黙っていられたの？

パイプ 怖いんだよじゃべってないぞ。だから聞いてくれハッチ。

ハッチ 何なのー？

パイプ ミネストローネって、タイトルはダブルミーニングで、スプーの「勺」とその道の「勺」、両方の意味をのっけてるんだ。あの道も、人間の「旅」の形を分解する一つの実験なんだ。だから俺も「勺」も一度は見ておかなへんちゃいけないと思っつわ。

ハッチ そうなの？

パイプ だってあの道を作ったのは俺なんだ。

声。の、掛け合いが入る。

ハッチ しゃべっ！…せーの……

「ここまで音が大きくなってきていて、パイプの声はだんだんと大きくなってきている。命図ではちよとがる。」

道案内：「ミネストローネへ」

キユー そのには道があつて、人が暮らしていた。かつて多くの人がそこを通り過ぎ、今日も通りの過ぎ、多分明日も通り過ぎる。明日のことはわからないから、多分をしる。だけ、きつと通る。

ジエット ここは道だから誰もここを自分の家だとは言わない。

キユー けれど道のどこかは自分の場所だとか、産毛の場所だとかいって縄張りを決めたりする。

ジエット 旅をするのはいつも他人。

ケッタ 自分はいつも自分のところにいるからね。

キユー わかっている旅人と、わかっている旅人がその日、この道にやってきました。

ジエット ストリート。

キユー とうとう言葉もなんだか小洒落ているばかりで意味がない。

ケッタ 道。

キユー とうとう、武士道、とか、柔道、とか重たい感じがしてくるからなんだかちょっと嫌だ。

ガクシャ 私が坐つていながらはじか？

カサ アスファルト。

メニコン コンクリート。

ジエット リノリウム。

キユー つまりは人工の石。石の道。未知の石。未知の反対は既知。つまり、基地。

ヤブメニ ベース。

キユー ここは基地であり、道である。街じゃない。

ジエット マチ。

カサ ミチ。

ジエット モチ。

カサ ムチ。

ジエット ムチムチ。

メニコン ムッチムチ

カサ ピチ。

ジエット ピチピチ。

メニコン ピッチピチ

ジエット ビチ。

カサ ビーチ。
ケッタ ブチブチブチブチ。

カサ ダスティン・ホフマンが真夜中にカウボーイと一緒に過ごしたあの道だ！
キュウ 萎えていうことを効かなくなった脚を引き摺りながら歩いた道。

この道は門。

この道は玄関。

この道はドア。

この道は入口。

この道は広場。

この道は自由。

この道は砂漠

この道は炎

この道は治外法権

この道は1人ぼっち

この道はゴミ捨て場。

この道は廃墟。

この道は宝の山。

この道は1人ぼっち。

この道は家。

この道はみんなの家。

この道はメロディー。

この道はみんなのメロディー。

この道はみんなの幸せなメロディー。

この道は1人ぼっち。

この道はこの道。

チー 「ミネストローネ」！

曲 inc.

ジエット そこに少年がやっっている。

キュウ 少年はオレンジ色のジャージを羽織っていて自分がどの誰だわからない。少年はカサを差して少年はやるじぶがなご。

ジエット もう独りの少年はこの道の管理をこなす。

メニロン うさぎうさぎうさぎうさぎうさぎうさぎ。

ジエット この道は死体置き場。

キユー けれど、ここにはひとつの死体もない。
ケッタ 死体のない道。

メニコン 当たり前？

キユー とんでもない。場所によっちゃ毎日新しい死体が道に転がる。

カサ 死体になると、

キユー 外から人がやって来て、死体だけを遠くに運んでくれる。

カサ 死体になると、

キユー ここを出て行ける。だからここは入口。

カサ 出口は別の世界にある。

キユー そう。出口は別の世界にある。

カサ ここは入口。

ジエメニ シャツ フル。

ガクシヤ シャツフル？

カサ この道にはバイクがあって、ヘルメットをしてる。バイクがあるんだよ。

ジエット ラスト・シーンはバイクののって二人乗りをして誰かと誰かが旅をするところ。

キユー 出口だよ。

ジエット だけど

キユー これは出口を探す物語なんかじゃない。

カサ この道は天井がすごく低いんだ。地上90センチの王国。地上90センチの天国。地上90センチの世界。世界世界。

キユー だけどさ、地を這いつくばっちゃうとまた別の世界にいつっちゃうんだよ。

カサ ところからじじ。

キユー 上でもなけりゃ下でもない。

カサ ところからじじ。

キユー ジベタにはジベタの論理がある。

カサ ところからじじ。

ケッタ ジベタ

カサ 地上30センチ以上90センチ以下の60センチ。

ジエット の。

カサ 王国。動けなくなったやつが、死ぬまでの間にじじがいる。世界中じじにでも地上30センチ以上90センチ以下王国は広がってる。

ジエット この国の領土は無量大だ。 日ハハ

キユー 言葉とは身体のことだ。

ジエット 日ハハ

キユー この言葉は誰かのためにも。

ジェット つまり、
キユー この身体も誰かのためにある。誰の、
ジェット 誰の、
キユー 誰の、ためこ？
カサ 誰のための身体なのかはわからない。
ケッタ けれどこの身体はあらかじめ誰かに差し出されたものだ。この言葉があらかじめ誰かに
差し出されたものであったらどうして。
キユー お客さんに。
パイプ ハッチ俺の話を聞いてくれ。
カサ 見る今日は月が、
パイプ 元気でな。
カサ お前もな。二つ昇る夜だ。

到着

到着：『絶望』がない

ヒカリ、ハッチ、ジェット、パイプ

パイプ 意外と普通なんだね。
ハッチ ま、普通のトコだよ。
ヒカリ ハッチ！
ハッチ おー、ヒカリ、久しぶり。ジェット
ジェット ういー
ヒカリ ぶぶちり食べへてきた？
ハッチ あー、うん。
ジェット 誰これ？
ハッチ ん？ ああ、パイプ君。一緒に来たっていうから
ジェット ああ……
パイプ あ、どうも。こんにちは。
ヒカリ いくし？
パイプ え、僕は、あれだよ、28。
ジェット うそ、

パイプ坐ると音楽が聞える。

パイプ あ、音楽……。
ハッチ じゃ産毛さんと一緒に来たんだ。

ヒカリ ななで
ジエット だって困ってるでしょ？ 見るからに。
甘栗 じゃ、おいでしょ。泊めてやっから。あんた手エでおいたのそれ？
ヒカリ え
甘栗 ハートみたいになってるけど……。

ヒカリの手にはインプラント。シリコンが埋め込まれている。

ヒカリ インプラント。
パイプ ヘー。インプラント？
ハッチ うん、昔3人を入れたんだ。
ジエット あたしは取っちゃったけどね。
甘栗 ああ、インプラントね。
ジエット 知らないんですけど？
甘栗 うん、ごめん。
ハッチ あれだよ、このハート形のシリコン埋め込んでんの。
甘栗 シリコンって、どうやって入れんの？
ヒカリ え、手術で？ 開いて、入れて、閉じてって。
甘栗 自分でー？
ヒカリ いやいや、ちゃんと医者さんにやってもらったの。ヤブさんていう……。
パイプ ヤブさん……
甘栗 嫌な名前。
ハッチ あれ本名じゃなくでしょ？
ヒカリ そうなの？
甘栗 なんの役に立つのこのハート？
ヒカリ 別に……なんかいいじゃん
甘栗 はあ……。
パイプ ねえ、そのヤブさんてのはお医者さんなんだよね？
ハッチ あ、うん、ななで？
パイプ よかったら紹介してもらえないかな。
ハッチ えー、ま、うんね。

到着・「バズ」

そこへ産毛登場。

産毛 うーす。来てたんだ。
ハッチ あ、さっき。産毛さんお久しぶりです。

産毛 なんかいっぱいいるな。誰？ 一のおばさんお母さん？
ハッチ やめてよ。全然知らない人。

産毛 あそつ。

ヒカリ あー！ 産毛さんこの前あったよね。

産毛 あーマジで？

ヒカリ なんか挨拶したんだけど、超無視したでしょ。

産毛 あーマジで。

ハッチ 気づかなかったんじゃない？

ヒカリ いや、だってすぐ近くで挨拶したんだよ。

産毛 あーマジで。じゃ、今度会ったら俺から挨拶するからな、

ヒカリ うん

産毛 1回無視してごうよ。

ジエット なんだ？

産毛 誰これ？

ジエット さっき会ったばかりだけど……

産毛 あーマジで

ジエット マジでね。

産毛 じゃ、飯行ごうよ。

ハッチ ヒカリ。

ヒカリ あ、たしはいいや、うん。

ハッチ え……。

ジエット じゃ、行ごう。またね。

ヒカリ うん、じゃあね。

残されたヒカリふと見る。またおばちゃん。目があつ。

甘栗 あんたは行かないでよかったの？ 一緒に？

ヒカリ うん。

甘栗 ウチ来る？

ヒカリ あ、ね。でも、いいの？

甘栗 いいよいいよ。その代わりあんた明日から仕事探しな。おばさん手伝ってやつからな。

ヒカリ お風呂あんの？

甘栗 ないよ。シャワーだけね。

ヒカリ えー、病気になるっちゃうよ。

甘栗 なんだ、じゃあたしは病気だと言いたいのかよ。ま、病気だけよ。

ヒカリ え？

甘栗 大丈夫、移る病気じゃないから。治る病気でもないけどね。いや……聞かないで。

ヒカリ 聞かない。聞かないよ。近いのおばさん家？

甘栗 虫歯なの。
ヒカリ 聞いてないよ。しかもそれ……、病気って言わないよ虫歯は
甘栗 立派な病気だよ。家は、歩いて30分くらい。
ヒカリ 遠。
甘栗 来ないの？
ヒカリ 行く行く。
甘栗 あっ、おばさんじゃならぬわっかか。う。
ヒカリ じゃなんて呼ぶばい？
甘栗 え、なんでもいけばいいじゃ、コンロ。甘栗。
ヒカリ じゃ、行く。甘栗はおばさん。

と、言いながら去る二人。セリフの後半部分はすでに音楽で聞えない。

到着：「旅したく」

パイプ やあ、こんなに早くヤブさんに会えるとは思ってなかったですよ。
ヤブ おう
ハッチ え、何、ヤブさん知ってたの？
ヤブ だから言ってるんだろ、俺場所によつてはマジで有名なんだって。
ハッチ へー。
メニコン 助手のメニコンです。……先日コンタクトに変えました。
パイプ それでの、
メニコン わー、無視がよ
パイプ ヤブさんが「旅」をさせたいわっていつのはめのため
ヤブ ああ「旅」ね。本当だよ。
ハッチ あれ、ヤブさん医者じゃなかったの
メニコン ね、ね、無視された……
ヤブ うるせえな。ハイ、メニコンです。コンタクトに変えました。
ハッチ わー。

ハッチ、パイプ、エセ拍手。メニコン、突っ伏す。

ヤブ 医者兼、ツアーコンタクターなんだよ。医者じゃなきゃ案内できない「旅」があんだよ。
パイプ はい。
ヤブ じゃあいつの？
パイプ もう、もういじょうまで行ってみたいんです。
ヤブ じゃあ、じゃあ、高きよ。

パイプ お金ならありますから。

ヤブ んじゃ、身体を一つ用意しないとイケないから、その間、「ミネストローネ」でのんびりしててよ。そうだな、3日後にもう一回来てよ。その時に出席してよってよいか。パイプ はい。

と、ケッタ、キューがどこからか口を挟む。

ケッタ ついていったのが運の尽き。

キュー え？

ケッタ 「ミネストローネ」はそこままで安全じゃないってこと。今時こんな彫り物も埋め込みもないきれいな身体持った奴がフワフワ歩いてたらそりゃ……。

天然ものはいい値段つくからね。

ケッタ 注意してあげないんだもんな、ヤブさんも

キュー 何、取られるやつの方が悪いって？

ケッタ そりゃそりゃでしょ。

キュー 都合いいねえ自分じゃっか。

ケッタ だって……そりゃ？「にじじゃそりゃいうルールだからしょうがねえよ。それじゃ仕事に。キュー いらしてらっしゃい。

ヤブはけ？ 再びパイプとハッチ二人きり。

パイプ それじゃ、むじもありがとハッチ。助かったよ。

ハッチ うん……。でもこの？ 本当に50年分せ。

パイプ これからでもむじにJUDGMENT?

ハッチ ん？ まあ、多分、ごめい。

パイプ ずっつごめい。そむごむごむ案内してねな。

ハッチ うん。

パイプ 元気だな。

カサ お前もな。

場面、真夜中に戻る。

音：in

キュー ハッチの口座に命の時間を振り込んでから数時間後、仮にパイプと呼ぶことになったこの

男は街の人間に出会う。そのわずか数時間後、

パイプ そりゃ無理だ。

カサ え？

パイプ むじすへい元氣じゃなくなんのかしら。

パイプ、去る。

人の声がしてゾロゾロ人が入ってくる。

ケッタ いたぞー！ やっちまえおらアー！

音楽、も。

人がゾロゾロと勢い込んで入ってくる。ある者は自転車に乗っている。

又ンチャクとかバカバカしくていいね。隠れるようにしてカサは一旦はける。

カサはパイプがバラバラにされるところを目撃する

キユー 彼の身体はバラバラにされてしまった。まるで肉片にむらがるカラスみたいな「あの道」

の男達は、自分の腕や、足や、皮膚なんかに飽きてしまっていて何の加工もしていない

身体に対して異常な執着をもっている。それは多分、

ケッタ 新品のバイク拾うような感覚かな。

キユー 他人のことはよくわからないから多分をつける。

ケッタ 慎重だね。

キユー 切り取った身体の代わりに自分のそれまでの腕や足をおいていく。結果として現場には、

複数の人間の肉片と血と、パイプの身体で一番役に立たない部分が残る。

ケッタ 頭が。

キユー それが一番大事だったんだけどね。持ってかれちゃったハッチに。

ケッタ おせっかいなんだよなあいつは。

キユー 大事にしてあげな。

ケッタ してたよ俺は。でも頭だけで生き延びちゃうんだから、簡単には死ねなくなったよな。

キユー そう？ 今だってほっとけば、虫歯でも人は死ぬ。

ケッタ だったらわざわざ国が寿命なんか決めなかったっていいのにな

キユー そりゃ権力は自然を支配したがるものだから。

ケッタ 70年？

キユー そ。約20億秒。

ケッタ ゼロ一個とつて2億円。

キユー だいたい生涯年収ってそんなもんでしょ？ まじめに働いて20億秒稼げば70年。大

金持ちになればもっつもっつも生きたいけえ。

ケッタ 貧乏人は税金でさっさと殺されちゃうけど

キユー そう、二二二じゃ命の単位がお金の単位になってんの。次に始まるのが、何もかも忘れち

ゃってるヤツの話。

ケッタ 初めにカサもって、しゃがみ込んでた彼ね。

キユー そう彼の話。第2章のタイトルは「ネストローネの巡回コースの二つ「アラビアン砂漠

パーク」

お役所 え
ゴーグル いったも同じ場所にずーっと坐ってるから。な。
ガクシヤ たまにゃ散歩べらじするよ
ゴーグル その程度だよ。
ケッタ なんせガクシヤってべらいだからさずーっと机の前でお勉強だよ。それよか、あの女
二人怪しいんじゃないかねの？ おぼさごと、ほらあごじ。
ゴーグル 怪しいね。
甘栗 はあ？
ヒカリ ちょっと何言ってるの。
ケッタ 最近、二人でいるんでいっつもなんか変なことやってるからね。頭おかしいんだよ、
ゴーグル 変なプラスチックカード持ってわめいてたりとか。
ジェット お金も相当、困ってるみたいだし、
お役所 ……ていわねちゃってますけど、じいんです？
甘栗 そりゃお金はあんまりないですけど、
お役所 この件に関しては何か？
甘栗 何もやってません。そんな大人の男と喧嘩してもね？ 勝てっくない。
キユー なんか見たものとかありますか？

キユーはヒカリに話を振る。

ヒカリ あたしは別に何も。それより、死んだのはあの人たちの仲間だったことは確かですよ。
お役所 お、お、そうですねが。
ヒカリ 一緒にいるじいさんも見ているし、だから殺したのもあの人たちの中の誰かしが居ないと
思いますよ。
お役所 それ結構重要な証言なんじゃない、ね。
ケッタ ね、ね、ね。こいつ嘘つきだから、信じないほうがいいよ。
お役所 あ、そうですねですか？
ケッタ 俺らの間では有名な話よ。な。
ジェット 前にあたしの友達のネックレス盗んで、それあたしの知り合ごに売らねばいじいじい
ばれたってじいじい……。
ケッタ 馬鹿なんすよ。
ヒカリ あれは買ったんです。
ケッタ ほらね。
ジェット オーダーメイドで作ってもらった奴だから売ってないものだって言っただけじゃ……
ヒカリ だから誰かが盗んでそれを売りに出したんじゃないの？ 知らないけど。あたしは中古
屋みたいなのごでちゃんとお金出して買いました。
ジェット みたいなのご(笑)？
ケッタ じいご(笑)？

ヤブ その顔は本気で謝ってる顔に見えねえっていつてんだよ
割と本気なんだけど……。

ヤブ ホントかよ。……ごめんな。

ガクシヤ え、え？

ヤブ いや、疑っちゃってさ。本当なのよ。

ガクシヤ 基準がわからねえなおまえは。

ヤブ ま、徐々に徐々に。で、何書いているの？

ガクシヤ だからなんでもいいんだよ。

ヤブ 嘘、なんでもいいもの書いているの。じゃ、俺も書いじ。

ガクシヤ やめろよ、おまえ、

ヤブ クレヨンしんちゃんか、しずかちゃんを強姦しているところをあの、ウメズカズオ風なタ
ッチで描くわ。「ギャー……誰か見てくれるのよ……」「しずかちゃんのかせにせずか
にしないのは理不尽だろ。オラの象さんが火を噴く」「のび太さ……」「ズローン！
「ロー……」「へっ……」「ギャー……」「へっ……」「ギャー……」

ヤブ、やるだけやって帰る。

メニコン、途中から見ている。終わってから出て来る。

ガクシヤ ……もついでなの？

ヤブ (黙ってうなづいて)

ガクシヤ お友だちがうじうじしてる。

メニコン ビーモオ。

ヤブ いないうつ言いつい。いなうつ言いついよー

ガクシヤ 何がそんなに寂しいんだよ。

ヤブ ナア。何がそんなに寂しいんだろうな。暇なんだよ。

ガクシヤ お前も来なかつたら

メニコン うん。さぼっちゃった。

ガクシヤ 真面目に行ったのがバカみたいだな。

メニコン 何書いているの？

ガクシヤ 先生の原稿の続き。

ヤブ なんて一発で答えるんだよ。

ガクシヤ あ、さわんなよ。

メニコン ごめん。これなに？ 原稿用紙？

ヤブ、原稿用紙の束で出来た机のようなものを示しながら。

ガクシヤ 机だよ机。

ヤブ お気に入らなんだ？

ガクシヤ うん。先生のね。

ヤブ え、それって前によくいたヒゲのおっさん？

ガクシヤ そうヒゲのおっさん。

メニコン え、ガクシヤってさ、なんの学者なの？

ガクシヤ あ？ ガクシヤじゃないよ。

メニコン あ、違っの？

ヤブ なんだ。みんなガクシヤガクシヤ言ってるから。

ガクシヤ そんなじゃないよ。

メニコン ぶーん。

ヤブ 前はなんかでかい会社に勤めてたんでしょ？

ガクシヤ ま、ガクシヤよりは近いな。出版関係。

ヤブ 作家？

ガクシヤ 違っ違っ。サラリーマンだよ。先生の担当編集者。

ヤブ 先生の……。じゃ、ヒゲのおっさんがガクシヤだったのか？

ガクシヤ そう、かな。作家って言うか……。

メニコン じゃ原稿の続きなとて、誰でも書けるせんじゃないでしょ？

ガクシヤ 誰でもは書けないよ。

ヤブ おオ？

ガクシヤ いや、そりゃ誰でもはちよつと。

ヤブ あれ、「先生」お気に入りの机置こしてらっしゃったの？

ガクシヤ 死んだ。

ヤブ あ……

問。

ヤブ じゃ、ガクシヤはあれか、御主人の帰りを毎日待っていた忠犬みたいなもんか。テレン！

さて、その忠犬の名前とはなんでしよう？ 1. ハチコ。2. パピコ。3. マチコ。4.

長谷川町子。

ガクシヤ 疲れるでしょ、一緒に居っ？

メニコン 慣れた。

ヤブ 相手にしてへくれよォー。

ガクシヤ 俺はそんな丁寧じゃないんだよ。

メニコン なんで死んじやったのその先生？

ガクシヤ え？ 一丁の机置こしてもなんか書いてたんだけど、

メニコン うん

ガクシヤ もうすごい勢いで描くから段々紙が少なくなっってひっくりかえってきちゃ。

メニコン うんうん。

ガクシヤ ぶさぶさ、さななななっってっ、気がついたら倒れこんだ。

ヤブ 過労死か。

ガクシヤ ま、そうかもな。だから原稿は途中で終り、本は出版されずじまい。

ヤブ やだよなー死ぬのは。運ばれちゃうしな

ガクシヤ 俺がせつせとその原稿会社まで運んでたんだから、半分は俺が殺したようなもんだ。

ヤブ 人殺しか。じゃ、俺と一緒にだな。

ガクシヤ ……。

ガクシヤ ちょっと離れる。ヤブ、ガクシヤを掴んで

ヤブ いやいやいや……

ガクシヤ は？ 坐りなおしたただけだよ。

ヤブ 仲良へしよつぜ、共通点多いんだしや。

メニコン べこが？

ヤブ あれでしょ、ガクシヤも昔運び屋だろ？

メニコン うん？

ヤブ おれも昔名簿屋やってたや、一件いへらっつって、個人情報入ったのD運んでたんだよ。

ガクシヤ ……ちよつと違つかな。

メニコン だよね。

ヤブ なんなら俺が届けてやろうかガクシヤの原稿？

ガクシヤ あん？

ヤブ 俺が運び屋やって、そのなんだ、出版社に届けてあげるよ。

ガクシヤ あれはそんな出版社に届けるようなもんじゃないんだよ。

ヤブ あそつ。

ガクシヤ うん

メニコン じゃ、自分が読むために原稿の続き書いているの？

ガクシヤ 別に……。

メニコン ……本当に忠犬みたいだね。あ、帰ってきた。

ガクシヤ、それを見るのが立ち上がったのはけぬ。

ヤブ じゃまたな。

ガクシヤ ……おつ。

裁きを終えて帰ってきた連中がヤブと田中会合し。

曲二 ケッタケ自転車に乗っつてくる。

少し前から近くで話を聞いていたカサ、急に口を挟むといっせいに視線がそちらに飛び。

ヤブ 知り合いです？

ケッタ いや

産毛立ち上がり、

産毛 なんか用？

カサ いやいや別に。いじめんなさい。

産毛 や、別にいいんだけどね。

ケッタ なんか、見ない顔だね。

カサ ああ、来たばかりなんですよ本当。

ケッタ したらじゃあ、ちょっと話せようよ、

ケッタ、立ち上がり、カサに坐るように促す。が、カサはかたくなに固辞する。

カサ いや、本当すいませんなんかあの、ちょっとめの

ゴーグル なに時間ないの？

カサ 時間は……そこですすね、ああ、ちょっと忙しいですすね本当すいません。

カサ、去る。

ケッタ なんだあれ。

ヤブ え、なにぞつか悪いの。

ケッタ いや、じゃあ、いいますよ

ヤブ いいからなんだよ。言えよ。

ケッタ 腕のなんか、この筋が痛いんですけど。

ヤブ どれ？

カサ 靱帯が炎症起しかけてますね。

ヤブ オナニーのやりすぎ……なんだよお前！

気づくと再び近くに居るカサ

カサ いや別に忙しくなかった。ですすよね。

ケッタ じゃ、もう坐れよ、暇なんだろ。

カサ 暇って言うけどまたちょっとニュアンス違ってくるんですけど

メニコン うぜー

ゴーグル なんなんだよ。いいじゃん坐れよ。

カサ でも、うぜーって……。

ゴーグル 気にすんなよ。別に意味ねえんだあれは

カサ、ケッタに促されてしゃがみ込む。

音i n。

カサ あれ？ 音楽が……。

カサ、立ち上がると音楽が聞えなくなる。

カサ あれ？ これ？ あれ？

ヤブ HSS入ってるから。

カサ え？

ヤブ なんだっけハイパー、

ケッタ (いや知らないっす)。

ゴーグル なんでしたっけ。

ジエット ハイパー、ソニック、サウンド。

ヤブ それそれ。知らねえ？

カサ ああ、話には聞いたことあったんだけど……。ホントにかなあれなとびすね。くっさり分かれてるんですね。

カサ、立ったりしゃがんだりを繰り返す。

カサ あ、聞える、聞えない。聞える、聞えない。

ヤブ おめえ絶対暇だよ。

カサ それちょっとニユアンス違ってるとはですけど。え、これはあの、どっという範囲で流れてるんですか？

ケッタ 範囲って？

カサ 可聴領域ってどういうんですかその、こわってあれですよ、なんか音がレーザーみたいにこわ、局所的に聞えてるって言う……。

ヤブ そっすっ。

カサ どっからが聞える範囲なんでしょうか？

産毛 だいたい、こっから、(膝下10センチくらいの高さから、アンダーバストくらいの高さまでを示している)こっから、(肩の高さ)切ってあとだよね。だからこの高さはスーっっ聞えるよね。

カサ 高さで。へー。なんかへんな高さじゃないですか。立ってたら聞えないんですよ、丁度いいよ。こっから、シバタに坐って聞けるよ。ほら立ってセカセカ歩いている奴と坐ってる奴じゃ全然リズム違うだろ？ 曲も結構いいだろ、こわ。

ハッチ ジェット
ケッタ あれ？
ハッチ お！ 久しぶり。
ケッタ おう。どうしたの？
ハッチ いや、ちょっと。
ジェット 遅かったね。

と、いいながらジェット立ち上がり、かたわらのヤブに立つように促して

ハッチ ごめえ。

ジェット ヤブちゃん悪いんだけど、ちょっとごめん？

ヤブ 何？

ジェット いや、このヤブが話あめってごめんかな。

ヤブ あー、何？

ジェット んー、あっちでもごめん？

ヤブ ん？ ああ、わかった。

ケッタ どうか行くの？

ハッチ 病院。

ケッタ え、何？

ジェット あんたはいいから。ここにいなよ。

ケッタ ……なんだよ。

ゴーグル だせ

ケッタ うんせ

ヤブ、ジェット、ハッチがはげえる。

カサ 俺なんかまずいこと聞いちゃいましたかね？

産毛 いやいや、おまえは別で……。ちっとじゃ、俺も行くわ。

産毛去る。ケッタ、メニロンを追いかす。

ケッタ ほら、おまえもいけよ。

カサ：蛇の道好

3人になりカサはちょっと居づらい。ケッタとゴーグルがなにやら小声で話をしている。雰囲気を感じて去るようにして立ち上がりながら。

カサ 借り物ですよ。誰に借りたのかもよくわかんなくはすね。
ゴーグル え、どういふことそれ？
カサ まあダイエイトだったら、例えばじゃあ……
ケッタ ケッタ
カサ あ、ケッタさんの身体俺が預かると思いますよね？ その間、ケッタさんはチェンジカスリープかかっていことになるんですね。
ケッタ チェンジカスリープ
カサ チェンジの場合はケッタさんに俺の身体、交換で貸すんですけど、ま、たまにバグるんで、大体スリープなんですよ。
ゴーグル スリープってのは、完全にお休みってこと？
カサ そうですそうです。で、困ったことに、たまにキャラクターがこの借りてる身体預かったまんま返さないでいなくなっちゃう時あるんですよ。
ゴーグル ひどいな
カサ そうするとこのスリープ入ってる奴は永久に起きられませんか。ひどいんですよ。
ケッタ ま、俺がそれなんですけど
え？
ゴーグル ……ダメじゃな。
カサ ダメですね。ダメっていついつにユアンス違ってるんですけど、
ゴーグル お前それ好きな
カサ そうすか……（照れ）
ゴーグル 照れるところなんだ。よくわかんねーな、お前。
ケッタ べ、なんなの？
カサ そうなる結構、大変なんですよね。俺ももう、自分誰だかわかんなくなってるじゃな
いんですか？ 返し方がないんですよ。
ケッタ え、じゃあお前じゃあ、
カサ はい？
ケッタ さっきみたいな場合を、俺スリープに入ってる、べ、おまえそのまんま逃げちゃうって
言い場合を、お前一個身体が余るじゃな。もともとのおまえの身体？ じゃあどうなっちゃう
の？
カサ それは「ムクロ」です。
カサ 「ムクロ」？
カサ そのまんま眠り続けている場合もあるし、たまになんかフラーって起きたりもしますがど
ね。そういう人を「ムクロ」って言うんですよ。
ゴーグル ふうん。じゃチャーちゃんとかそれなのかね？
ケッタ ああ……（ん）
カサ あの子感じいいですよよね。
カサ そう？ 無視されんじゃな？
カサ そんないいんですよ。

ケッタ そしたらなんだ、おまえの「ムクロ」もどっかにあるわけ？

ゴーグル そっか。元は「これ」じゃないんだもんね。

カサ いや、ないんです。

ゴーグル なんで？

カサ なんか……死んじゃったんじゃないですか、多分。……よく覚えてないんですけど。ないんですよ。

ゴーグル 複雑う。

ケッタ、姿勢を少し正して、

ケッタ じゃ、お客さん紹介してあげよっか？

カサ あ、本当ですか。

ケッタ おまえさ、金あなの？

カサ ないですよ。全然。

ゴーグル やばいよね。金あな時は命あなをきただからね。

カサ そうなんすよね

ケッタ だって、全然いるよね知り合ってるし、どうしてもやせたがってる子みたいの。

ゴーグル もう全然。

カサ でも俺、身元とかはしっかりしないかどかせひんまなうてははは、

ゴーグル 表のルートではっていついっしょ？

ケッタ もっていいよね。

ゴーグル うん。

カサ そっですか？

ケッタ いや、こつちもさ、身分証ない連中とか、証明されちゃうとまずいみたいな沢山いる

から紹介できるよね？

カサ ああ……。

ゴーグル 俺らの紹介ちゃんと通さないで問題起しちゃったりすると、あのおっきの産毛さんって
いたですよ。

カサ 産毛？ 産毛って言うんですかあの人

ケッタ ま、つつまないであげて。

カサ はい

ゴーグル 彼が一応こころへんは全部仕切ってるって言うことになってるから、

ケッタ あの人は、ホント怒らすと厄介だよ。

カサ ああ……。え、じゃあ紹介してもらってもいいんですか。

ケッタ おう。じゃ、わかったら電話するからさ。電話とか、あんでしょ。

カサ え、ああ、ありますあります。

ケッタ携帯をゴーグルに渡す。

「Google携帯を取って、自分の番号を打つ。」

ケッタ　ちよつと経費がかかるけどどう？

カサ　あ、金取るんですか？

ケッタ　そりゃな。

カサ　ええー。

ケッタ　別にじゃあいいけど勝手に一人でもやって。でもまあ危ねえと思つよ。

ゴーグル　ま、勝手っちゃ勝手だけどね。

カサ　わかりましたよ。そんな言い方しなくてもいいじゃないですか。

ケッタ　いや俺らもそんな無理に金取りたくないし。善意でやってるからさ。

ゴーグル　そうおまえなんか面白からさ、じゃなかったらやんないよね普通。

ケッタ　面倒臭いしな、やめよつか？

カサ　お願いしますよ、じゃあ。じゃあね、本当。

ケッタ　いや、いいんだけど。じゃあ、前払ってどう？

カサ　あ、いい、あ、いいですよ。

さっそへ金の受渡しをするケッタ。

ゴーグル　ほら番号入れたから登録してごい、

カサ　はい、あの

ゴーグル　Googleでいいよ、Google。

カサ　はい、ありがとうございます。

ゴーグル　お、とりあえず金俺が預かっていよ。

ケッタ　いいよ俺が持っているから。

ゴーグル　いやいや俺がもつていよ。

ケッタ　あ？ 何信用してなの？

ゴーグル　そうじゃなくけど……。じゃあ、ごいよ。

お別れを言ってる人解散する。Googleがいなくなる。

ケッタ　なんだよ

カサ…寄り道

「Michaelの曲がかかぬ。」

カサ　お、Michaelジャクソン。

ケッタ　わかるの？

カサ あ、なんとなく。そんなファンとかじゃなくはよ。

ケッタ マイケルはいいよな。

カサ あ、好きなんですか？

ケッタ 嫌いな？

カサ いや、嫌いじゃないですよ。ま、たまに聞きますよ。ていうか、結構好きですね。うん、

ファンクラブです。

ケッタ え

カサ 言い過ぎましたね。

ケッタ だよな。いや、四五六さんすい好きだったんだよ。晩年はなんかいろいろいわれちゃ

ったけどその子供になんかいたずらしたとか？

カサ あれはまじっすよな。

ケッタ そう？ じゃあ、子供を好きなマイケルを好きな俺もまじっすいかな。

カサ それはまじっすよ。

ケッタ マイケルはだって、バイオリンだよ。だってお前、黒人から白人になっちまった奴なん

ていないからね。

カサ あれ笑いましたね

ケッタ 俺は笑ってねえけどな

カサ ……………。

カサ ……四五六さんも「ハハ」マイケルが最初にそいつ、皮膚とか髪の毛とか、そいつ

身体だって自由に動かせることが出来るってのを証明したんだとかっていって

面白そうな人ですね。

ケッタ 四五六さん？ すげえ面白かったよ。あの人いなくなっしてから全然ダメだよ。

カサ ダメなんですか。

ケッタ いつまでいても変らんねえからな、クズばっかで。だから俺、金貯まったら女だけ連れ

て出てよ。

カサ 女。モテそうでもねえ。

ケッタ モテるとかそういうんじゃないよ。回言ってたよ。俺はモテねえよ。モテる……………うん。

カサ え、彼女ってさっきの中いました？

ケッタ なんかあの後からチヨロって来たやつ。

カサ ああ……………なんか病院行くとか言ってた？

ケッタ そうそう。あれ、なんで病院なんか行くんだろっとな。

カサ どうか悪いんですかね。

ケッタ え。ゴーグルさん？

ケッタ 何がゴーグルだったの。笑わせんなよな？ 虫眼鏡みたいなツラしやがって。

カサ え、そうなんですか。

ケッタ ていうか、出んなよ。俺がちゃんと連絡するから。わかった？

カサ はあ。じゃ、なんでさっきゴーグルさん？ に番聞いとけとか言ってたんですか。

ケッタ ああいつとけば、自分に連絡来るまでは話進まないと思うだろ。メガネワールドではその間に俺がちゃんと紹介してやるからな。

カサ あ

-googleが戻ってきている。携帯電話を持って。

-google お前名前なんていつんだっけ？

カサ え？

-googlemen ごめんごめんごめん、登録しようと思ったんだけど

ケッタ あ、聞いてねえな

カサ ……カサです。

照明変化足元。音乗り換え。もしはにじくをoffするが、man。

カラオケジャック：12

自転車で帰ったほうがいいかな？ ケッタ、google二人とも自転車かな？

カサ：疲れる

チーが入ってきている。二人後ろに移動して。

カサ やっぱ知らない人ばかりだと疲れるな。

チー (イエス)

カサ な。チーは誰か仲いい人いんの？

チー (うん)

カサ 誰？

チー ジェット。

カサ ふっん、いい人なんだ？

チー (うん、カサは誰かいないの？)

カサ 俺？これから作るのかな。

チー ……がんばれ！

カサ 何それ「がんばれ」って？ 可愛いつもり？

場転。

経過

経過：医学のイ

ハッチ え？ ああ。うん。あたし？

ヤブ あくまで臨時の避難先だけど、女だしな、ここに入れとくことはできるよ。

ヤブ、ハッチのお腹を差し示す。

ハッチ 頭を？

ヤブ やめな？

ジエット えー。

ハッチ やっぱ大変？

ヤブ まあ、それなりにね。男でしょ？ 脳の大きさが大体1400だから、6、7カ月の胎

児ってところかな。

ハッチ 結構重いね

ヤブ、にやにやして語る。

ハッチ なに？

ヤブ いや、最高のインプラントだな、と思つて。

ハッチ やめてよ

ヤブ 何かにならうとして身体改造するやつには最近興味でねえからな。考えたら面白そうだな。インプラントなんだつたつたって結局誰かの真似しているだけじゃしょうがねえ

からな。あ、そうだ。ーっだけ問題あるわ。これ重要なんだけど、

ハッチ うん。

ヤブ ちよつとあちこちいじっちゃうから、妊娠とかできなくなるけど、いい？

ジエット そうなの？

ハッチ 危ね。それ先に言つてよ。

ヤブ じゃ、やめよう？

ハッチ 考えまじつ。ごめん。

ヤブ いっけい、病院入れとくとめっちゃくちゃ金かかるよ。

ハッチ 大丈夫。お金はあるから。ごめん。考えまじつ。

ハッチ、ジエットはは。メニロン登場。

メニロン 妊娠とかできなくなるの？

ヤブ つつたつたほつがチンションめがるかなと思つて。

メニロン うわ。じゃ、何、嘘なの？

ヤブ 本当にできなくなるやうにしてますよ。

メニロン わんわん？

ヤブ だって、そつたつ話でオッケーもらつたわけだから。

メニコン 医者としてどうなのそれ。
ヤブ そりゃ医者としてはないんだけど、シアールコンダクターとしてありだろ。
メニコン ありえねー

経過：ヒカリ・ハッチ

ハッチとヒカリが喋っている。電話。

ハッチ やっぱそう思うっ？

ヒカリ 当たり前じゃん。そんなの絶対やんなくてもいいことじゃない？

ハッチ だって……。

ヒカリ ダメダメ。

ハッチ うーん……。

ヒカリ 教えてあげるとね、きれいに言ってしまう場所ってのは一通りしかないの。

ハッチ 何？

ヒカリ 一つはお金も愛情もお腹一杯、一先ずは飢えてないって場合。あんたの場合はこっちな

わけないでしょ？

ハッチ もう一つは？

ヒカリ 行き過ぎた自己嫌悪の裏返し。

ハッチ そんなじゃないよ。

ヒカリ 自分の体切り売りしたってしょうがないんだから。やめなよ。

甘栗 ただいま

ヒカリ おかえり。

ハッチ いいよ、もう。じゃあ自分で考えなよ。

ヒカリ うん。まあ、そう。自分で考えないとね。

ハッチ じゃあ、ありがっじ。

ヒカリ うえい、うえい、ちんぽお力になわす……。

ハッチとの電話を終える。甘栗、部屋に入る。

経過：ホタテ

甘栗 誰？

ヒカリ ハッチ。

甘栗 ふうん。……あーあ、疲れた。

ヒカリ 占いて儲かるの？

甘栗 儲かったらこんなトコロで二人喜ばないでしようが。

ヒカリ そっか。

と、いってヒカリ。甘栗にホタテ干物の袋を渡す。

ヒカリ はいじゃ。

甘栗 何これ？ ええ、嘘。これちよつといいホタテじゃない？

ヒカリ あげる。北海道のやつなんだって。

甘栗 なに、どうしたのこれ？

ヒカリ え、プレゼント？ ほら、いい子だからさあだし。

甘栗 ありがとう。

ヒカリ 別にいいよ、ついでに買ったただだから。

甘栗 何のついで？ ていうかあんた外出たの？

ヒカリ ま、たまには日の光浴びないとさ。ほら、光合成で生きてっからあだし。

甘栗 偉いじゃない。……ヒカリはね、

ヒカリ うん

甘栗 親は知ってるの？ あんたがこじこじること。

ヒカリ え、なんで？ 知らないんじゃない。つーか、病院抜け出してきてっからね。

甘栗 なにあんた病院入ってたの？

ヒカリ うん。おいし〜？

甘栗 おいし〜

ヒカリ ホラ、あたし上がり下がり烈しいからさ、ものす〜い下がってる時があつて、なんもし

ないでポーっとしてたら病院入れられた。

甘栗 ポーっとしてただけ？

ヒカリ もう限度なくポーっとしてたから

甘栗 今みたいこ〜？

ヒカリ 今みたいに。そうかもね。

甘栗 ダメじゃない。抜けてきちゃ。

ヒカリ いやあんなこといたらますますおかしくなんな〜と思って。せまいし。遊べないし。こ〜
う……

小刻みに脚をカツカツと地面に打ちつける。

ヒカリ なつちやっつて。やばいなじゃはこじ出ないと、こ〜思つて。

甘栗 親〜さん捜してんじゃなの？

ヒカリ 捜してないよ。

甘栗 なんぞわかんぬよ。

ヒカリ だって、入院だいたい、3ヶ月くらいしてただけぞ、

甘栗 うん。

ヒカリ 入院するときは一緒に来てくれただけで、あと一回も来てないから。忙しいんじゃない。

甘栗
歯が痛い。
複雑ね。

ヒカリ
いや、シンプルでしょ。産んでおらうってありがどう、じゃねーみたいな。ホント痛い。

甘栗
どういふもんの？

甘栗
……わかんないけど。

ヒカリ
わかんないんだ。

甘栗
ほら、あたしは親とかいないからね。

ヒカリ
そうなの？

甘栗
うん。

ヒカリ
……。

甘栗
あんた子供欲しくない？

ヒカリ
は？ なんで？

甘栗
うけるなと思っつて。いきなり産んだら。

ヒカリ
欲しくない

甘栗
ずっと欲しくないの？ 全然。

ヒカリ
うん。なに欲しいの？

甘栗
欲しい。

ヒカリ
ふーん。

甘栗
……一人だしねずっつ。

ヒカリ
……。

甘栗
子供できたらバレエやらんつかと思っつてたア

ヒカリ
なんでバレエ？

甘栗
足が長くなりそうじゃない、なんか。

ヒカリ
あたしバレエやっつたよ。

甘栗、ヒカリの足の長さをちらちらと観察して、

甘栗
じゃ、バレエはやめよう。

ヒカリ
なんでよ……。

甘栗
んーもうわかんならぶよ。どこかキレイな女をさがすの。

ヒカリ
すねよ。

甘栗
だから子供産みなさうよ、ホロっつ。

ヒカリ
あたしの子供育てるわよ？

甘栗
あたしはだっつ、おっ師だから。

ヒカリ
なに占い師は子供産んじゃいけなの？

甘栗
いっつと思っつ？

ヒカリ
え、いっつじゃなの？ ダメなの？

甘栗 ハア……。産んでもいいのかア……。(落ち込む)
ヒカリ なんなのそれ。

甘栗 痛そうじゃないなんか。痛いの大嫌いだから。
ヒカリ あそう。でもアタシは産まないから。

甘栗 歯医者行く？

ヒカリ 行かない。お金ないよ。

甘栗 お金は別にあるのよ、ヒカリ。お金の事ならね。

ヒカリ 行かない。

甘栗 でも治らないよ、それは。

ヒカリ 行かない。

甘栗 じゃどうするのよ。

ヒカリ 知らない

甘栗 あんたさ、

ヒカリ うん。

甘栗 ……なんでもない。

ヒカリ 何

甘栗移動。

ヒカリ ……何。

甘栗 なんか盗人した？

ヒカリ はい？

甘栗 盗んだ？

ヒカリ なんで？ え、なんでそんなこと聞くの？

甘栗 盗んだ感じでしたから。

ヒカリ なんでよ。

甘栗 そういつあねがあつてさ、ハッチちゃんとか、ジェットちゃんとか友だちと上手いかなくなくなってるじゃないの？

ヒカリ あんなの友だちじゃないよ。

甘栗 友だちじゃないの？

ヒカリ もういつかな、っ。面倒くね。

甘栗 あんたが面倒くさくしたの？

ヒカリ 別に。流れで？ 心配するようじゃないよ。

甘栗 なんにも心配するんじゃないの？

ヒカリ うん

甘栗 なんにも？

ヒカリ 大丈夫

間。

ヒカリ 別に。いや、盗んだとかじゃなくして
甘栗 とったの？

ヒカリ なんかいらなそうだったから、もらってあげた？

甘栗 あんたもらったのが。

ヒカリ うん。そんな感じ。

甘栗 ちゃんと返してきな。

ヒカリ なんで

甘栗 ダメだよ返さなさいってねほ。

ヒカリ 別にいいじゃん。

甘栗 大丈夫だよ。

ヒカリ 何がよ？

甘栗 一緒に、いっしょにこよう。

ヒカリ 別にいっしょ来なくて。頼んでこよう。

間。

ヒカリ じゃ、返してこようよ。あの机の引き出しに入ってるからそれ、

甘栗 一緒に行かなさうダメだよ。

ヒカリ なんでこようよ。

甘栗 じゃ、かえってこようよ？

ヒカリ うん

甘栗 ほんとて？

ヒカリ ベンツにいらなう

甘栗 ヒカリが取ったから戻ってこいって返すよ。

ヒカリ なんだから、別にどってないの。だからなんか、もらった……、いらなそうだったか
らもらってあげただけだよ、あては別にならぬって聞いてきたわけじゃないのね。

甘栗 じゃ、それってさういふから、それを言わばちやちやいふよ。

ヒカリ じゃ、さうよ、返してきてこようよ。

甘栗 それだったら簡単よこようよ。

ヒカリ だからいっしょ返してあげよ。

甘栗 じゃ、返してくるよ。ヒカリがさういってましたって。

ヒカリ じゃ、さうよね。

甘栗 じゃ、返してあげな。

ヒカリ うん。もう、寝よ。

甘栗 うん。

ヒカリ おやすみ

甘栗 おやすみ。アナコンダ。
ヒカリ あたしのことよね？
甘栗 気分気分。

Work

Work: ケッター・メニコン・ジーン・ヒント

上のセリフをいいながら携帯を準備している。

曲 in

カサ はい。
ケッタ 見つけた見つけた。どうしてもやせたいって女のチ。
カサ あ、本当ですか。
ケッタ おう。ほら、こないだちょっと顔あわせてるんだけど覚えてないかな、メニコンでどう、
ちよっつッカフカフした感じのチ。
カサ フカフカ。んー。会えばわかるんじゃないすかね。
ケッタ だな。それじゃ、22時にこないだの所で待っててよ。向いっつおまえの番号教えてく
からね。

51

カサ はい、
ケッタ 相手の女のチもすごい不安みたいだから、安心をしてみようってこと。
カサ はい。めいがかつていねえわ。
ケッタ ちよっつなチ、つままちっちはじわでオッケーよ。
キュー ちよっつッッ。
ケッタ じいじい俺の話もめいも知らおつかと思っつ。じいちも本格的に動き出すじいじいしたか
ら、お、いっつまでもいっつ坐ってんのもなんだからな。
キュー ふんふん。ん？
ケッタ じいをこの道への最後の仕事でつよつかと思っつわ。
キュー どうせ最後だから両方から仲介手数料もらってやるつかって。うまみのある取引だろ？
メニコン よオ、メニコン！ おまえに仕事の話があんだけどわ。
メニコン えー。
ケッタ えーってことねえだろ、儲け話だよ。
メニコン あんたロクな話持っつくないからなー。
ケッタ そんなじいねえっし。
メニコン せめて「ありがとっ」と言っつてもらえる仕事がいいね。最低限。
ケッタ いらっつッッな。儲け？ 持ちだっつね。
メニコン うっ

ケッタ 「ありがとう」「ななて縁のない言葉だらう？」

メニコン 全くな。

ケッタ どうしてもななて言われる？

メニコン 「騙されてたじゃないのロコ」「ごまごま違いますよそんな……」「騙されてたじゃないの」

ケッタ そんな仕事の後、おまえななてどうなの。

メニコン 「絶対騙してなんかないですよってきこって喜んだだけですよげんげん//ロコオコッー!」……

…「どうよオコッー!」

ケッタ 持ちたいよね、誇り。

メニコン うん

ケッタ そんな君に絶好のお仕事だ。

シエット登場。

メニコン え、何々？

ケッタ だから……………

シエット 童貞クンの筆下ろし？

ケッタ ところだけの話、おまえを「指名なんだよ。

メニコン ……ふうん。

ケッタ あの人すっげえかわいいですねえ、っつかっついてね。やるだろ？

メニコン ワカタヨ。ヤルヨヤル。オカネイクラ？

ケッタ 50万秒。

メニコン 結構モラエルノネ。

ケッタ だろ。っつうわけで、仲介料をちっと。前払いで。

メニコン ハイハイハイハイ、10万秒。

っつかっつか、ケッタは去る？

メニコン ていつ話があったんですけど、代わってもらえませんか？

シエット えー。

メニコン お願いしますよ、なんつっても今のあたしには無理な話なんで。非常に。厳しい。

シエット 何がよ。

メニコン あそこのがさいぶさいぶだったんですよ。

シエット ぶさいだ？

メニコン 縫っちゃったんです。へたーっつて。

シエット 糸で？

メニコン ううん。

シエット 何？

メニコン ピアッシング。

ジェット やーだーもう、ちょっとあんたったら、変態。

メニコン まだやったばっかだから膿んじゃって。だってヤブがさ。

ジェット わかった。あんま、生々しい話はいから。了解した。

メニコン オンニキルヨ。チュウカイリヨウはアタシハラットイタカラ。30万。

ジェット あ、そんなに？

メニコン デモ無理言ッテルシー5万でイイヨ。アタシ半分持ッヨ。で、このだけの話、ジェットさん御指名なんだって。

ジェット え、知ってる人？

メニコン ほら、この前ちよろっと見ただろおまえも、カサ君。「あの人はマジでヤバイですね」メ

ロメロ」とかいってたらしいすよ

ジェット そう。ガブガブガブ、15万秒。

Work: ジェット・カサ

坐っているカサ。そこにジェットがやって来る。

カサ いやあ、緊張するね。俺、久しぶりにキャラクターの仕事だよ。チーは何か仕事やって

なの？

チー (うん)

カサ へー、何やってなの？

チー (働いてるってほぐタイム)。

カサ ああ……。大きな……。クマを……。パソコンに閉じ込める仕事か！

チー (どんなやねん！)

カサ 一生懸命働いてるじよはわかった。あー、じよ。へんなちやちやにならな。真面目にやるんだからな。

チー (はははは)

カサ ま、こぼらへん会えな。じよ思っはじよ、またあつたら仲見っせしよ。

チー (うんうん)。

カサ それまじよは名前思っはじよ。何、まじ思っはじよ？

チー (うん、まじわかつた)。

カサ 嘘つけ。

チー 四五六。

音。

カサ 四五六？ あ、俺？ 違っはじよ。あ、あ、来た。おまえ、ちよっぴっか行っ
ててホラ。仕事仕事。

と、そこにジエット登場。ジエットが見つかる前にチー、さっとはげる。

ジエット カサ君だよわね？

カサ そう、ただけでしょ……やせしてるね。

ジエット ありがとう。

カサ うん……。あれ後から来るの？

ジエット え？

カサ メニコンさん？

ジエット ううん、ジエット。よしよしね。

カサ ああ、よしよし。

ジエット坐る。

カサ ふうん。ああ、ここのうのもあり。初めてだ。

ジエット やっぱ、初めてなの？ 忘れられない思い出にしてあげろ。

カサ いやいや結構なテラッだよ。安心して。

ジエット 目が怖い

カサ 久しぶりで

ジエット うん、お手柔らかに。ってんたへらい話決まってるのかな？

カサ あ、あ、どっちかって？ チェンジかスリープかって？

ジエット あ、チェンジとかするの？

カサ え。俺はどっちでもいけるけど。ジエットさん決めてよ。

ジエット あたしはそりゃチェンジなして行きたいけど。そっちがよければ。

カサ そう。わかってるのかな？ スリープってのは俺がそのジエットさんの中に入って仕事

してる間は、ジエットさんは眠ってる状態なんだけど……

ジエット うんうん。すじい言ひ方するね

カサ 大丈夫？

ジエット あたしがあんまり積極的に動かないほうがいいんじゃない？

カサ うん。うん？

ジエット マグロ好き。

カサ マグロ？

ジエット すきでしょ？

カサ いいねえ。つけまべるとかね。

ジエット ん？

カサ じゃ、スリープしていい？

ジエット 寝るの？

カサ 寝る寝る。なにになになに。大丈夫？

ジエット 大丈夫大丈夫。

カサ　でもそんなにやせてるよなァ

ジエット　あ、何、もしかして丰满な人がタイプだった？ ごめん。

カサ　俺は、むしろいいんだけど、あんまりやせてる人は経験ないし……

ジエット　じゃ、いつもはそっち、その、デ、デブ専……

カサ　ま、仕事だからね。

ジエット　仕事か。ごめん。ご期待に添えず。

カサ　むしろいいんだけど、うーん、あんまりやると……死んじゃうよ。

ジエット　すっぴい自信だねびっくろ。

カサ　いや、だってやりすぎると死ぬよほんとに。

ジエット　（ズーンと来いよ、のジエスチャー）死にません。むしろ殺してって何言わすのもオ。

ジエット照れ笑い。

カサ　はあ？ おたくでしょ、依頼したのは？

ジエット　あたしあたし、ん？ 依頼？

カサ　んー。ホントに意味……、スリープでいいの？

ジエット　チエンジにすんぬ？

カサ　だから俺はどっちでもいいんだけど、

ジエット　だからあたしもどっちでもいいんだって。

カサ　じゃあ、スリープね？

ジエット　うん、寝るのね。

カサ　ヤア。

ジエット　じゃ、もう行いじつオ。

カサ　どうして？

ジエット　え、ホテルじゃダメ？　あたし野外とかはちょっと……。

カサ　あ、いや、ん？　あ、ホテル、ん？　おや？

ジエット　もういいじゃん。あとまあ、やってみてっついでいいや。

カサ　じゃあ、あの、身体その相性を見めっついでいいじゃん……オ、お、お、

ジエット　殺さない程度でね。

カサ　あ、いや、いじつオ。お願いします。

Work…ハッチの仕事

カサ、ジエット一回はオ。

場転しい、

キュー　っついでっついても話がかみ合わないと思ったら、あんたのセッティングがめっちゃくちやなんじやなご。

パイプ ふぶちり奢ってあげたじゃない。
ハッチ あんなものべらこさだ。
パイプ 初めてなんて嘘までいっし。
ハッチ それはごめんだけべ、そんなに重大なことじゃ、
パイプ 自分を利用する奴は信用できる、ってね。
ハッチ は？
パイプ 欲得もないのおおじっちゃんを信用した君も無用心だったんだよ。
ハッチ じゃあ、返す、お金もふぶちりも返すから
パイプ ……俺はこの道を見届けていたんだ。君の中で
ハッチ なんであたしがそんなことしなくちゃ行けないの？ 気持悪い。
パイプ しなくちゃいけないことなんて何もないだろ。君の人生で。
ハッチ ……なにそれ。
パイプ みんなハッチの自由だよ。あくまでこれはお願いなんだから。だけど、本気のお願。
ハッチ 俺が君にあげられるものは何もお金ばかりじゃない。
パイプ 何？
パイプ 俺の頭に埋め込まれてるインプリントはこの道を運搬するために欠く事のできない動力源なんだ。裏表に刻まれた希望と絶望のインプリント。
ハッチ だから何？
パイプ だから君は手にするところがわかるよ。この道での確固たる居場所と理由を。
ハッチ 別に今だってあるぢやんなもの。
ケッタ じゃ、もういいよ、好きにするよ。せっかく人が金用意したっていうのよ
ハッチ そんなこと頼むなごっちゃん別だ。

ヤブ、登場。

ヤブ じゃ、やめな？
ハッチ いや、やります。お願いします。
ヤブ 本当にこのね？(おか井)
ハッチ 誰ですか
ヤブ ま、怖い顔。本当にこのね？
ハッチ はい。
ヤブ よし、じゃあお出発っせし。

Work…mistake

シヒット、カサ再登場。

シヒット 書いなー、

カサ なあ、暑くないね。
ジェット そんな急いで服着なきゃ良かったのに。
カサ ごめんなんか裸でいるの落ち着かなくて。
ジェット ははは。
カサ へん？
ジェット いいんじゃない。前付き合ってた人が同じことだった。
カサ あ、それピチヨンくんじゃない？ ちょっと見せし。
ジェット え？

ジェットのピチスレットを見せてしまっただけ。ジェット、ティアードロップ型のチャームの着いたピチスレットをこぼした。

カサ 超かわいいピチヨン君だ。
ジェット ピチヨン君じゃないから
カサ まだ持ってきてくれたんだ。
ジェット え？
カサ あれ？ ごめん。俺あげなかったっけ？
ジェット うええ
カサ ああ……。なんかピチヨン君好きなんだよね。
ジェット ふうん。……。どうか、ななっこの……。……。やり方も似てるんだよね前付き合ってた人
カサ へん。ええー！

ジェット や、あんたがね
カサ やめてよ、ええ？ 照れくさいな。
ジェット もっつと前の話だけよね。
カサ へんっつと前？
ジェット もうわかんないべし。その頃はまだあたしもこの身体じゃなかったしね。
カサ え？ っつと前。
ジェット いや、あたし「キャラクター」やってっから。元々は別の身体なんだ。
カサ あ、そうなの。ええ？ へん？ あれ？

ジェット じゃあ、の。(金お)。
カサ は？
ジェット え、は、じゃなくてお金。
カサ え、え、え？ 金ないよ俺。
ジェット え、ちよっつとぶさげなごめん。
カサ へん？ いや、だから俺、キャラクターでしょ？ わか、わかってる？
ジェット え？ あんたが。

カサ そっつと。うう。だっつと俺、そっつとささめはねはねの仕事をこま。おっつとささめはねはねの女の子がい

るからって、ケッタくんを紹介されて

ジエット ん？ ん？ それがあたしの？

カサ じゃないの？

ジエット 違うよ。

カサ え？ で、その前に身体の相性をみたいうつろいっ？ え、え、ダイエットしたくないの？

ジエット したいわけないじゃな。

カサ なんなんだよ意味全然わかんないよ。

ジエット え、お金本当じゃないのじゃあ？

カサ あるわけないじゃな。金稼いでみてんだから。

ジエット じゃ、あたしつろいっちなっちゃうの？ さぬいさっしゅんめ

カサ 「死ぬー」とかいつたへんせに

ジエット それはあんたが、そういっしゅんいっしゅんしたほつが……、サーブスの一環でしょ。どっちなつてんの話違うじゃな。

Work:「トータル死す」

メニコン登場。

メニコン いや、あたしもそういっ話だとは聞いてなかったんだけど、

カサ あんたなんか聞いてないの？

ゴーグル 知らないよ。全部ケッタがやってたわけだからな。

ジエット どうでもいいけど、このまんまじゃ収まりつかないでしょ。どういっこと？ ケッタ。

ケッタ いや、俺はメニコンにはちゃんど……、おまえが御指名受けてるんだからって

ジエット ハア？ そうなの。

メニコン あたしのせいじゃないよ。

ケッタ おまえが勝手に人に振るからいけないんだろ。

メニコン でもあたしが行ってたって別になんの解決にもなってないじゃん。

カサ そりゃそうだ。

メニコン でしょ？

産毛 あのね

みんな黙る。

産毛 おまえ人の女なんだと思っってたよ。

カサ いや、そういっじゃなくだよ。

産毛 おまえじゃねえよ。ごっしだよ。

ケッタ そういっつもりじゃないたですわ、メニコンが……

産毛 うんせえな。

ケッタ あ？

産毛 喋るなよむかつくから。

ケッタ ……。

産毛 「じめなもじ消えいへたねじつからじつ」

ケッタ いわれなくとも出へんよ。

産毛 なに？

ケッタ 大体、四五六さんがいなくなつてから興味ないしさ。あの人の代わりにおまえって言うんじゃ終わってんだろこども。つか、シエッタさんだつて俺は今でも四五六さんの女だと思つてるからね。だからせうじつ意味で謝ります。「じめななご」。

産毛、ケッタ掴み合い。一瞬つかみ合つて、引離される。とつこのを何度か繰り返して、次第にそれは踊りになる。

カサ じゃ、やるだけやっつてくれさうよー

曲二。ダンス。

と、そこへ甘栗登場。

甘栗 返しに来たー！ー これー！

メニコン え？ あ、あたしのだ。

甘栗 ヒカリがこれ取つたから返しに来た！「じめな」

ゴーグル 誰このおぼさか

メニコン いいよこんなもん。安物だからいらなごよ、めげぬ。

甘栗 いや、ちやんと聞こせよせうかかあめの子だつて決心して返してやるよじつからつてくれた

ゴーグル 本人がいらないつていつてんだからじつ。さうじつ話じゃねえんだよ。な。

甘栗 そつじつ言い方なごよごよ

メニコン ああ、はいはいありがじつ。

メニコン ネットレスを受け取る。

ゴーグル じゃあ、もう帰れよほら、

ゴーグル 自転車でその場を離れる。

甘栗 なによー！

ゴーグル いったえな、このカバ

甘栗 カバ……。なんだこのー！

ゴグル、自転車（なるべく漕がないで銃声以後は惰性で進む）で半月を描くようにして
スーと旋回し、転倒。苦しむ。
ゴグル血を吐く。

産毛 ああっ！… ちょっとめえ何すんだよ。ひでえことしやがって。

甘栗 ええ！ ああ……ごめんなさい。あれ？ あたし……

産毛 ケッタ、ヤブ、呼んでごいヤブ！

ケッタ はい

カサ こけただけじゃないんすか？ こけただけじゃないんすか？ え、だって血、吐いてる
のおかしくないですか？ あれ？ ちょっと大丈夫すか？ ゴグルさん！ ゴグ
ルさん！

甘栗 あたしが栗なんか投げたから……！ ごめんなさい！

産毛 あ、ごいごいゴいゴい風おしてごいやな。

カサ え？ え？

産毛 いや、金が……。

カサ どいごいごいごいすか

産毛 とりあえず、死んだ……。

音楽が大きくなって場転。その音をうつつすらと残したままで次の語りへ。

【3】 記憶と問いつかけ

袋小路

袋小路：取り調べ2

ケッタ その後、ヤブさんと一緒に帰ってきたんだけど
キユー 時すでに遅し。

ケッタ あいつがそんなに時間失ってるとは思わなかったから。だって何にも言わないんだもの。
キユー 信用してなかったんじゃないのあんたを

ケッタ かもな。自分をちゃんと利用してへる奴はむしろ信用できる。っていつも教えてやって
ただけだな。

キユー じゃ、誰も彼を利用しなかった、ってことだ
ケッタ いや、したよ。死んじゃってからだけど。利用はした。

再び、取調べの場。

お役所 で、なに、こいつが犯人ということになったからおとし前つけましたってことだいいの
かな？

産毛 そつですけむ。

お役所 んー、なんかこれ犯人を裁いたって言うより、全然新たな殺人が起こっちゃってる感じ
がするんだけど……、どつなのその辺は？

産毛 いや、違いますよ。

お役所 誰をかばってるんだかわかんないけどわ。

産毛 かばってなんかいません。事実です。

お役所 ま、いいんだけどね、どつちやなせ。

産毛 あ？

お役所 俺も解任だから。昇進だよ昇進。こんな場末の地域管理はもうやらんでもいいんだって
よ。

産毛 はあ

お役所 ま、じゃ君もがなびつてくれよ。仕切ってるだろこいつ
産毛 いや……、

お役所 あれ、違つもの？

産毛 そんなはもう俺もやめますわ。

お役所 だそうなんで、あとよろしく御願います。
キユー 了解了解。短い間だったけどご苦労さん。

お役所 まだ続けるんですか、1111の管理？
キュー そりゃあ当然でしょ。

お役所 勿体無い。その気になれば絶対昇進できますよ、あなた。なんなら僕が紹介しよう
か？

キュー 好きでやってんだからほっといて。

お役所 そうなんですか？

キュー うん。だってあたしがこの道を作ったんだもん。

お役所 え？

ケッタ そうなの？

キュー そう！ さあ、それじゃいよいよ最後に始めるのがあたしの話。第3章は時間がないの

でタイトルは省略。3度、パイプと呼ばれた彼の話の続きにもとらうか。

SE、水滴音。

袋小路：手術

ケッタ おう、メニコン、ヤブさんなの。

メニコン 今手術中ですよ。

ケッタ え、誰の？

メニコン 秘密ですよ。

ケッタ それいついついて来たの？ いつから出せやヤブさん。

メニコン まだ、もう少しですからって、はっ！ 「手術中」の明りが消えた！

ケッタ どう？

ヤブ、ハッチ登場。登場の音楽。

ヤブ っはー、疲れた。長い手術だったわア

メニコン おつかれサア

ヤブ ま、そんなに気が狂いしないでしょけど、多少は、気を使って（お腹）。

ハッチ はい。

ケッタ なにやってんのおまえ？

ハッチ 別に。

ケッタ 手術？ え、おまえどっか悪いの？

ヤブ あれ言っていないの？ ……今ココに新しい命が宿っています！

ケッタ はあ？ おまえ、なんだ全然聞いてないよそんなの。

ハッチ 自分が聞けなかったでしょ。

ケッタ おめでしょ。

ハッチ え？

ケッタ だって俺の子だらう？

ハッチ そう、に決まってるじゃない。

ケッタ だよな。びっくりをせんなよ。

ハッチ ごめんね。

メニコン いやいや違う違う違う。……あなたすぐばれる嘘つかない。

ハッチ つい……

ケッタ 何が？

メニコン あの、大人の男。の、脳髓。ですから。

ケッタ 何それどういう意味？

ヤブ ま、いいじゃないかー！ 1人の人間の命が助かったわけだから。ギリギリセーフって感じだったな。

ケッタ よくねえ、全然よくねえよ。おいおい、なんだよそれどういことだよあいつの？

ハッチ もついでしょ。自分で考えて自分で決めたことだから。

ケッタ なんだよそれ。

ヤブ ま、理解してやってくれ。かっこいいインプラントを埋め込んだ新しい君の恋人を。できるわけねえだらう理解なごい。

ハッチ いいよもつ。また会おう。

ケッタ え？

ハッチ あんたも暫くはこの道にのめりなごい。あたしも当分はここに居るからさ。また、ね。

ケッタ残される。

ヤブ じゅん、スミ、怒ってん？

ケッタ じゅん……

ケッタはけ。

ヤブ おつじはじゅん……

ケッタ 唄うなよー！

ヤブ一回黙る。

ヤブ つも〜待たせる〜だけ〜

ガクシヤ おんな〜は〜

袋小路：運び屋

ガクシヤ登場。

ガクシヤ いつも待ちくたびれて〜
ヤブ うん、うん、うん……。あれ、どつしたの？
ガクシヤ な、原稿って本当に頼んでもいいの？
ヤブ 運び屋？ いいけど、そりゃタダじゃねえよ。
ガクシヤ いくら？
ヤブ いくら貰えるの原稿料？ それ次第だろ。
メニコン だね
ガクシヤ さあ。まあ、有名な先生だったから、結構貰えるんじゃないの、だから頼むよ。
メニコン あ、何、その先生が書いたってことにして届けるの？
ガクシヤ ……おう。
メニコン 詐欺じゃん。
ガクシヤ ー、まあ、そうかもな。詐欺かもな。
ヤブ うわー。だって、それ、お前、え？ 詐欺じゃん。
ガクシヤ 認めただろう既に。
ヤブ じゃ、ちよっぴ多めに貰わないと。0：4でいい？
ガクシヤ 俺が6？
ヤブ いやいや、俺が6でいいよ。
ガクシヤ なんてお前のほじが多いんだよ。
ヤブ じゃ、7：3でいいよ。
ガクシヤ 7は？
ヤブ 俺。
ガクシヤ 増えているじゃねえか
ヤブ わがままだな。
メニコン じゃ、5：2にしよう。5：2。
ガクシヤ 5：2って……あ？ 残りの3はどっにいっちゃったんだよ。
メニコン (自分を胸に手をあてて)
ヤブ そこか。
ガクシヤ 何でおまえが俺より多いんだよ
メニコン だってお金欲しいんだもた。
ガクシヤ じゃ、わかったよ、金なとて全額へねてやるからと。とたかへいね届けへねよ。
ヤブ メールでいいじゃな。
ガクシヤ そんな無用心ができるか。
ヤブ 自分で行けよ
ガクシヤ なんだよ、この前行ってへねるって言っただろうが。
ヤブ ええー、どつしようかな……ちゃんとフメス風に書いたんだろうな？ ギャー。
ガクシヤ 漫画じゃない……

ガクシヤとして立って、場所を変え、

ガクシヤ ……真面目にしてしまった。

ヤブ ありがとう。

メニロン おめでとう。

ヤブ やったよ。

ガクシヤ ……おまえ何の力でもこの道が移動するのかって考えたことあるっ

メニロン ない。

ガクシヤ そういつ研究んだけど…興味ねえだろ。

メニロン オモソロソウ。

ガクシヤ ふん。月が二つ出る晩に移動が起る。

メニロン あと雨、降らなるとダメ。

ガクシヤ うん。その条件が…巡回コースの中でHiss聞いている人間が「シャッフル」
される…。

メニロン うんうん

ガクシヤ 本来「ミネストローネ」ってのは、「旅」の形を分解する一つの実験だった。だから、
わけわからんところに飛び込みたいっていう「旅人」がここには集ってたわけでしょ？

メニロン うんうん

ガクシヤ だけど、何回もシャッフルして行くうちに、道のあちこちには毎回お互いをイメージす
るグループみたいなもんが出来てきた。俺らにしたって、そうだ。社会っていいってもい
い。

メニロン だって、誰も知り合いないんじゃないじゃあねじゃん。

ガクシヤ そういつか、知っている人と一緒にいたいって思う「記憶」と、それを忘れてしまいた
らして「忘却」と、二つのいたりきたりする力でもこの道は動いている…。

メニロン そうなの？

ガクシヤ んじゃないのかな、と思う。

ヤブ で、そういつ話をここに纏めたわけ？

ガクシヤ そう先生の遺作。いろいろ書き上げると、さうか。

ヤブ ああ、遺言みたさなの？

ガクシヤ 違うけど。

ヤブ 何

ガクシヤ 俺がシャッフルの時にイメージしてたのは、先生の顔だから。それとも、いつもここに
たどり着く。

ヤブ それが何？

ガクシヤ 先生が居たところってのはおまじの「ト」だろ？ だからここに書きつけてさういとなのか
と思っただ。

メニロン ……やっぱり忠犬みたいだね。

ヤブ テレシー！

甘栗 ただいま

ヒカリ おかえり。

甘栗 ものすごい大変な、あれ、旅だった。

ヒカリ あ、そう。お疲れ様。

甘栗 うん。

ヒカリ 何が大変だったの？

甘栗 人を殺してしまったわ。

ヒカリ ええ！？ 誰を？

甘栗 なんか、メガネの人。あたしが栗なんか投げたから……。

ヒカリ 死なないでしょ、そんなんで。

甘栗 皆まで言うな。立派な犯罪よ。ああ、人殺しだ……もつ昔のあたしじゃない。

ヒカリ あ、そう。

甘栗 うん。あ、ちゃんとネックレスは返してきたよ。

ヒカリ あそう。

甘栗 うん。

ヒカリ ねえ、甘栗。

甘栗 うん？

ヒカリ ……やっぱいじや。

甘栗 あ、何、何よ。もつすごいイライラする。言っつよ。

ヒカリ あたしの時間盗もつとしたでしょ？

甘栗 してないよ。ななな？

ヒカリ だってこの前銀行行ったら残高3年分くらい減ってたんですけど？

甘栗 ごめん。

ヒカリ ちよっつ……、なななでそついついつつするの。あたしは本当怖いよ？ むしろ寿命縮むよ

そういついつとやっついつ。

甘栗 だってまだあんた若いし、これからの人生長そうじゃない。

ヒカリ それ目的であたし呼んだの？

甘栗 それはあれだから……ごめん。

ヒカリ あやまちあったよこの人。

甘栗 え、あやまらないでもないの？

ヒカリ 謝って。ぜひとも謝ってよ。やっぱそれが目的だったんだ。

甘栗 だって何かと一人だと面倒だしさ、お金稼ぐんでも一人のが都合いい。つってもあん

たは病気になるっちゃったからあれだけ……、ほら家事手伝ってもらったりや。

ヒカリ お手伝いロボじゃないんだから。

甘栗 ロボは高いから。

ヒカリ 人間で済ませておこうってか。
甘栗 いや、それも悪いなーと思ったから子供産んでって頼んでたでしょ。
ヒカリ 子供を使う気だったの？
甘栗 子供はほら、財産もちだからね。
ヒカリ 別にそこまで開き直らなくてもいいよ。
甘栗 じゃあ。

間。

甘栗 歯医者行く？
ヒカリ そればかり。
甘栗 だってなんか
ヒカリ 臭う？
甘栗 それもあるし、やばいと思うけどわは。
ヒカリ 行かない。
甘栗 あ、そう。
ヒカリ うん。悪いね。
甘栗 いやいや大丈夫、別下。
ヒカリ 甘栗。
甘栗 ん？
ヒカリ ネットレスありがとね。
甘栗 え、ああ。いいよいいよ。
ヒカリ 嬉しかった。
甘栗 うん。

間。

ヒカリ 別にあんなもの欲しかったわけじゃないんだ。
甘栗 うん……もらってあげたんだもんね。
ヒカリ そうもらってあげたの。なんかあたしでもらうものが人生全体の中で少なすぎるんじゃないかと思うし。
甘栗 え？
ヒカリ バレエの才能とか？ 普通の、普通のなんか、普通……、いろいろ普通にやっけていける力だとか。見えなかったんだ。ハッチとかジェットとあたしをつないでる線みたいなものが。
甘栗 道？

ヒカリ 道……。そうかもね。だからきつとそいつにあるって言う風に想像する力があればそれでよかったんじゃない？ そしたらきつとネットレスなんか盗らなくてよかった。

甘栗 ……もらってあげただけだから。

間。

甘栗 あたし考えたんだけどね、やっぱり子供は別に足長くなってもいいかもしれない。
ヒカリ ……うん。

甘栗 それにあつ、うんぽう穴は1日1回開けてたり、なんか入んなシリロンとか埋まってもいい
かもしれない。
ヒカリ いいかもね。

間。

ヒカリ あたしでもいい？

甘栗 いいかもしれない。

ヒカリ ね、もし甘栗が死んだらさ。

甘栗 うん。

ヒカリ 甘栗の骨をあたしの皮膚に埋め込んでもいい？

甘栗 気持悪くないの？

ヒカリ うん。平気。そんなに約束さうい。

甘栗 何を

ヒカリ いろいろ今の気持とかを忘れないようにした。今のインプラントはちっちゃすぎたのかも
れないな、しるっと忘れちゃったから。

甘栗 あんまり大きかったら痛いよ。

ヒカリ あたしが先に死んだらさ、

甘栗 うん、え？ 何。

ヒカリ 残りの時間も上げる。あたし全然70歳になってないからさ、まだ、大分残ってるし。

甘栗 なんであなたが死ぬのよ。親子ってそういうもんじゃないでしょう。

ヒカリ だって親子じゃないじゃん。

甘栗 似たようなもんじゃよ。

ヒカリ そうかもね。

甘栗 いい？ 子が親より先に死んじゃダメなの、親は子どもより先に死ぬの。親は子のため
に死ぬの。そう、親は子のために死ぬの！ わかった？

ヒカリ じゃあ、あたしがママだ。

M…「じいじは赤ちゃんさ」

ヒカリ、立し。

甘栗 違う、さういふじいじはななへい。

ヒカリ ほら呼びなさい、甘栗。「お母ねえ」。

甘栗 呼ばない。絶対呼ばない。

ヒカリ なんぞ？

甘栗 だって、呼んだら死んじやいぞうなんだもん。

ヒカリ 呼ばなくても死ぬよ。これ教訓にして生きていって、「意外と虫歯は怖い」。

甘栗 アホ。

ヒカリ ほら、呼びなさい、甘栗。

甘栗 お母さん。

ヒカリはげ。

甘栗 ヒカリ！

出口

出口：酷い話だと思わない？

カサ 酷い話だと思わない？

チー (？)

カサ じこはいいところかと思っただけど嫌なところだなあ。みんな喧嘩ばっかしてキア
チー (ぞうでもないと思っけど?)

ジエット あんたチー知ってるの？

カサ うん。もう長い付き合いだもんな。

ジエット 嘘。

カサ じこ来て最初に知り合いになったから。

ジエット そうなの珍しいね

チー (うん)

ジエット 人見知りのへせじ。

カサ あれ何ジエットさんじこそ知り合いなの？

ジエット 知り合いも何も、ていうか、一緒に住んでるし、みたいな。

チー ジエット

カサ そうなの？ なにあんたチーの保護者(笑)？

ジエット 数えてみ、イー、アー、サン、スー、ワー、リウ

チー チー！

ジエット セ。ヌン・ソーン・サム・スイー・ハー・ホック

チー ジエット！

ジエット セ。

カサ おオオ。びっくり……、ってだから何ー？

ジエット 言ってんでしょ、あたし本業はキャラクターだって、
カサ なんの関係があるの？
ジエット チーは、あたしの「ムクロ」なの。
カサ え？

雨の音。フェードアウト。

ジエット この子は、四五六と付き合ってた頃のあたし。

チー 四五六。

ジエット 誰が？

チー (ん？ この人が)

カサ あ、俺の名前？ 四五六？ 俺、四五六か？ あ、俺、四五六か！ すっきりした！

チー (そつそつ)

ジエット なにいつてんの、勝手にそんな……え？ あんた……え？

カサ 違うかな？

ジエット 違うんじゃない。全然顔違うし。

カサ そうだよなあ。

ジエット でもあれが、

カサ そう俺キャラクターだから。

ジエット それ、元々の身体じゃないんだよね。

カサ うん。

ジエット やっぱそつなんだ。じゃあ……

カサ え、四五六って本当に死んだの？ 確認した？

ジエット 死体は見たけど、死に目にあつたわけじゃないし。ひよっとしたら

カサ そつ

ジエット 死ぬ前にあんたとチェンジしたの？ 死んだのは四五六じゃなくてその「ムクロ」でさ。

乗りうつつった四五六は今ここにいるアンタ……。って違うかな？

カサ 忘れた。

ジエット 思い出してよそんな大事なこと。

カサ だいたいのは忘れてる。

ジエット でも「ピジョン君」のことは覚えてた。

カサ あれは

ジエット いや、「ピジョン君」じゃないけど。

カサ なんかの勘違いかもしれないし、……大事だからって思い出せるとは限らないんだよ。

ジエット じゃ、あんた誰を思い出して「ピジョン」来たの？

カサ 誰って、わかんないけど……。なんかいたんだよ、知り合いが一杯。いいじゃん、別に。

思うほどなくなつたって「ピジョン」じゃ「ピジョン」じゃあ。

ジエット 段々と思う「ピジョン」の「ピジョン」？

カサ やり直せるかもしれないっ？

ジエツト うん

カサ ダメだよ

ジエツト なんで？

カサ 全然何も思い出せないかもしれない。

ジエツト それなら段々新しく、覚えていけばいいんじゃない。

カサ ジエツトのこじを？

ジエツト あたしとチーのこじを。覚えていってくれればいいんじゃない？

カサ なんでそんなにこだわるの。

ジエツト 当たり前じゃんだって、ある日勝手にいなくなっというて何？ あんたがいなくなったからあたしだって「チー」の身体に戻らなかったんだから。四五六と付き合ってた頃のあ

たしはそのまんま戻っというところなんだから。

カサ じゃ聞くんじゃね、

ジエツト 何

カサ 四五六ってのが俺の「ムフロ」だったとしたら、今のこの身体は誰？

ジエツト 知らないよそんなの。

カサ 四五六がこの身体に入る前にもこの身体はこの世にあって、誰かと何か、大事な約束を

していたのかもしれない……。そう、この道に来たばっかの時にヘンな奴とあったんだ

けど、そいつは俺のこの顔に見覚えがあったみたいだったし……。わけのわかんない奴

からメールきたりとかね。

チー あ……

ジエツト え？ ああ、降ってびちゃったね。濡るよ。

カサ うん

キュー 次のシャッフルが来るぞ。

雨と一緒にキューが来る。

キュー わけわかんない奴とかいわなごよ。

カサ え、ごめん誰？

キュー メールを送り主。

カサ そうなの？

キュー 返事くれないんだもんね。

カサ だってわけわかんなかったんだよ。

キュー トウゴウ・カンジ。って知ってる？

カサ え？ 誰それ？

キュー あたしの同僚。で、あんなその身体につけられた元々の名前。

カサ トウゴウ・カンジ。

キュー あたしをモデルにしてミニストローネの絵を描いてくれた、現代美術家さん、忘れてん

でしょ？

カサ 知らないよ、そんな奴

キュー でもそれあなたのことなんだよ。

ジエット 関係ないよね？ その「」の身体が昔トウロウって人のものだったとしてもね。今は四五六が入ってるわけでしょ？ だったらトウロウって人の記憶はどっか別のところにあるでしょ？ じゃ、「」は四五六じゃん。

キュー 別にどこにも行ってないからよ、「」の身体に付けられた名前だから。ジエットさんだっけ？

ジエット あ？

キュー あんたも「」の「」の直ぐなとて期待してもダメだよ。「」は何度覚えんでも無駄。何度でも必ず忘れちゃう「」の男。それが「」の仕事だから。忘れて、また作り直すよ。

ジエット どうして「」？

キュー そういつ風に出てくるの。あなたの埋め込んでるインプラントの裏表は「忘却と再生」。

場転 キュー・パイプ・カサの三人のシーン。

カサ してああ！ あー あー ジエット、「」？

ジエット どうして？

ガクシヤ 私が坐って「」は「」か？

カサ アスファルト。

メニコン コンクリート。

ジエット リンリウム。

キュー つまりは人工の石。石の道。未知の石。未知の反対は既知。つまり、基地。

ケッタ ベース。

キュー 「」は基地であり、道である。街じゃない。

出口：ガクシヤの結論

ガクシヤ 「ミネストローネ」ってのは「場所」のことじゃない。それはある日突然に「発見」された、世界の点と点をつなぐ線、身体と身体をつなぐ糸、想像すればそこに現われる。なんだ「道」のことだ。

パイプ この道はー！

キュー この道は門。

パイプ この道は玄関。

キュー この道はドア。

パイプ この道は入口。

キユー クエストション

ガクシヤ 問いかけと。

キユー メモリー。

ガクシヤ 「記憶」が表裏になって刻み込まれてる。

ガクシヤ 「ミネストローネ」はその3人のおかげで動いている。彼らはこの「道」の管理人だ。

キユー かつてDJ四五六が選んだ曲をいまでもHSSsに乗せて流している、そういう女。記憶する絶望と、忘却する希望。それがこの道の原動力。

カサ 実際のところね、ちよくちよく自分がどこにいるんだか、わからなくなる時があるんだよね。いや、まあ、聞いてよ。誰だっただるでしょ？ ちよつと用事を思いついて立ち上がる。で、家の階段を3段も降りると、あれ？ ってなんだよ。あれ、なんで立ち上がったんだろって。1階に俺なんか用事あったんじゃなかったっけ？ あるはずの階段がなくなって次から次に踏み外していくようなあの感じ。

大丈夫。大丈夫だよ、まだまだ。俺の足取りは全然しっかりしてるぞ。次の一歩こそしっかり踏める。次の一歩こそしっかり踏める。ちゃんとそこに階段があるはずだっけ、いきかせるようにして降りていくんだ、けど……、止まらないんだな、そういう時は。しよつがないから階段昇って、もて坐ってた椅子にもつ一回腰掛ける。上手へすれば、椅子の下にはボタンがついて、坐った拍子になにをしなくちゃいけないかったのか、ピコーンと思いつ事ができるかもしれない。

だけど階段昇って2階に戻ってみるともつ、その見覚えがねえんだよ。冬の日の薄へ凍り張った水溜りみたいに、映像がパリパリになってくるんだな。視界が小さくなってフチのところがチリチリしてくんだ。あれ、こんな服どこで買ったんだ、ってのが始まったやつともつダメだね、あれ、どくだいってイスに坐って何してたんだろって？ あれ？ 俺の手か？ これ？ こんなインプラント入れた覚えねえな。ええ？ 本当に俺の手か？ っていつか、誰、こいつ？ 気持悪！

病院のシーン。

カサ 今俺は、踏み外し続けた階段を高速のエレベーターみたいなものってすこいスピードで駆け上がってる。そう、そう、そう、わかっただよ。DJ四五六は今この身体に入る前のこの俺で、この道を作ったのはこの身体、こいつトウゴウ・カンジだ。

パイプ 元気だな。

カサ お前もな。……元気だ。お前もな、そつだお前も元気だな！

キユー お前もな。そつ！

カサ お前とお前と俺と3人で、一緒にHSSsが流れてるこの道を作ったんだっけな。

ジエット 思い出したの？

カサ おうジエット。「じをなにはいかりと想ひ出せばたじやはなごうしんへんごうはごきりや何もか
も思い出した。

キユー だけどまた忘れる。

ガクシヤ 誰の、

ジエット 誰の

サホ 誰の

ガクシヤ ために？

キユー もう一回生まれ変わるために。

ガクシヤ 多分、3人は話し合ったんだと思う。

3人がいる。

ガクシヤ 何を話しあったのかはわからない。ただ、彼らは約束をして。それを身体に刻み付けた

キユー また会おう。命尽きるほど時間が過ぎたらまた会って、やり直そう。何度でも忘れて、
何度でも生き返って、何度でも絶望してまた、やり直そう。あたしはそれを覚えていね。

パイプ じゃあ、またね。

トウゴウ じゃあ、またね。

キユー じゃあ、またね。この道へ、

暗転。

【4】海辺の墓地

スーパ

スーパ：迷路で雨宿り：続

カサ

どこだよ雨宿り？

台詞の後、f-で雨音。

チーが雨宿りをしてる。壁沿いに立って目線は雨降る道。

カサ、ジェットの傍に足早に歩く。ジェットは今まで自分の居た場所をカサに譲る。

カサはごく当たり前のようにジェットの横に腰を降ろす。

ジェットが今まで居た場所より少しだけ外だから傘はたたまない。

カサ

雨降ってると思う思い出すんだけどさ……銀河鉄道999。哲郎がさ、あのちっぴりガンマンみたいなヤツいたじゃん？ あいつが言ってただけで、雨が好きなんつうのは金持ちの言っただけだ。一回でも道を歩いたら雨が好きなんて言えるわけないからって。そうなんだよなマッてさ。うん、すげえわかるんだよ。

何もじゃええ聞いて聞いってジェット。

カサ

知りあいだよね？

ジェット

(イエス)

カサ

だよね。好きなの雨？

ジェット

(イエス)

カサ

そう。……俺も結構好きなんだよな雨。……困るけどな。寒いし濡れるし。

間。

カサ

ごめん名前、なんだっけ？

ジェット

……

カサ

喋れないんだっけ。ごめん。謝る事もないか。いいんだよな、そんなことば。

チー

ジェット。

カサ

ジェット、ジェットね。

ジェット

(イエス)

カサ

よへいるんだっけの辺？

ジェット

(イエス)

カサ　　また会ったらよろしく。

カサ、手を差し出す。ジエット、それを答えて握り返す。

カサ　　じゃ俺の名前はなんでしょ？

ジエット　　(?)

カサ　　ひどいな忘れちゃった？

ジエット　　……。

チー、雨の中立っていき、二人の正面。

二人を見て笑う。

カサ　　なに笑ってたよ。

チー　　(笑ってません！)

カサ　　あ、そう、違うの。笑ってんじゃないだ。

チー　　(うん)

カサ　　じゃあ……泣いてんの？

チー　　(イエス)

カサ　　笑ってんじゃねえかよ！

チー、笑う。カサ、立ち上がる。

ジエット泣いてる。

カサ　　あれ？ 泣いてるの？

ジエット　　笑ってたの。

カサ　　笑ってたのか。笑ってたよな。そういつ時もめるよ、うん。

ジエット　　帰ろう。

カサ　　え？

ジエット　　ウチに帰ろう。

カサ　　ミチ？

ジエット　　ウチ。おうちに帰ろう。

カサ　　え、それは俺のウチなの？

ジエット　　うん。あんたのウチ。

カサ　　じゃあ、帰ろうか。

ジエット　　うん。チー、行くよ。

そっく入キューが駆け込んできた。

キュー ひゃー。あーあ、じ。

傘を置く。

キュー よお

カサ おお……？

キュー みんなとは仲良くなった？

カサ いや、来たばかり。まだちょっとわかんないんだけど。

キュー 前からいたじゃん。ね。

ジェット うん。

カサ あ、そう、だったっけ。

キュー じゃそろそろ行くっか？

カサ あ、そう。え……っか、じゅめん誰？

キュー キューキュー。

カサ キュー。あ、じゅめん知り合いなんだよね？

キュー そりゃあね。

カサだけ笑う。キューは笑わない。

キュー立ち上がって去る。少し離れた所から、

カサ 元気だな。

キュー お前もな、っつ、え？

カサ いや、なんかいたくなつたの。元気でなつて。

キュー それ言う相手間違えてるよ。

カサ え？

キュー ほら、カサ君、ジェットとチーにお別れを言いな。

カサ お別れ？ なんで、お別れなの？

ジェット ねえ、チーも連れて行ってやっつて。

カサ え？

ジェット っくどっつめ？

キュー うーん。

ジェット 待っつてい。

カサ え？

ジェット そんなに遠い将来じゃない。きつと迎えにいへよ。遠い将来じゃないから。うん。なんか、待っつて。そのころにはまた身体変わってるかもしれないけど、なんかいろいろこちやちやしたもん整理したらあたしもきつとそっちに行くからさ。だから、チーと一緒に待っつてい。

カサ っくどっつめ？ っくどっつめ？

キュー 行こう。ほら、見い。
カサ え、何を？
キュー 今日は月が
カサ 見る今日は月が！
キュー 元気でな！
カサ お前もな、二つ昇る夜だ。

ジェットだけが1人取り残される。

スープ：シャッフル

キュー・ケッタの語りの場が現在時におこす。

カサ この道は天井がすごく低いんだ。地上90センチの王国。地上90センチの天国。地上90センチの世界。世界。世界。
キュー だけどさ、地を這いつくばっちゃうとまた別の世界にいつっちゃうんだよ。
カサ こっからいじ。
キュー 上でもなけりゃ下でもなご。
カサ こっからいじ。
ケッタ ジェッタ
カサ 地上30センチ以上90センチ以下の90センチ。
キュー の。
カサ 王国。動けなくなったやつが、死ぬまでの間にいじている。世界中いじても地上30センチ以上90センチ以下王国は広がってぬ。
ジェット この国の領土は無量大だ。ハロ、ハロ、
キュー 言葉とは身体のことだ。
ジェット この言葉は誰かのためにもぬ。
キュー この身体も誰かのためにある。誰の、
ジェット 誰の
キュー 誰のためこ？
ジェット 誰のための身体なのかはわからない。
ケッタ けれどこの身体はあらかじめ誰かに差して出されたものだ。この言葉があらかじめ誰かに差し出されたものであったらどうして。
キュー あんたじ。

場転。ケッタとキューの場面へ。

ケッタ 俺にか……。

キュー そうあんだに。

ケッタ ゆっくり聞いてみたけどわかるようなわかんないような話だな。

キュー まあ、半分ぐらいわかって。新しいミネストローネのリーダーさん。

ケッタ そんなんじゃないよ。うん。そんなんじゃないけど、なんで俺なの？

キュー 知らない。流れるに？

ケッタ ……じゃ、しょうがねえか。

キュー DJ四五六の御指名だ。

ケッタ 産毛さんに申し訳ないな。

キュー 向いてないよ、彼には。

ケッタ 何で？

キュー みんなに信用されないんだ。ほら、君みたいにみんなを利用しようとしなから。

ケッタ だって……そう？ それが俺のやりかたなんだからしょうがないだろ。それじゃまた

キュー っつらっつらっ。

そこにハッチがやっつてくる。

キュー よろしくね。これからはあんだがもう1人の管理人なんだから。

ハッチ 何すねばいいの？

キュー 別に。

ハッチ 別にっ。

キュー うんぱりしても死なずに持っていて。希望と絶望のインプリント。

ハッチ うん

キュー また会おうね。(ハッチとハッチのお腹に向かって喋りかける)

そこに産毛がやっつてくる。場転。

産毛 行っちゃったね。

ジエット うん。

産毛 おまえもいかないでよかったの？ 一緒に。

ジエット うん。

産毛 なんっ？

ジエット 別に。

産毛 ……本当によかったの？

ジエット なんて行って欲しかった(笑)？

産毛 いや、そつらつわげじゃねえはじ。
ジエット あんたんとこ居ちや悪いの？
産毛 ……あーアジビ？
ジエット マジだね。
産毛 じゃ、飯でも行くか。
ジエット うん

場転。

ヤブ 俺も医者はもつやめにしようかな。
メニコン ええ、やめちやうの？
ヤブ わかんねえけど、ガクシヤにでもなるうかな。
メニコン ん？ ガクシヤはどつしたの？
ヤブ あいつはリーマンに戻った。
メニコン ななび？
ヤブ あれ書いたらにににの理由もねえだつてね。うん。そなでいんじゃねえかな。
メニコン じゃあたしは？
ヤブ 運び屋でもやるか？
メニコン ななび？
ヤブ じつ一個つしむわいんからね。運び屋、医者、ガクシヤつて、

甘栗はヒカリの骨を持ってヤブ医者のとこに行く。

甘栗 ねえ、インプリントって出来るの？
ヤブ おう。おまなび。
甘栗 じゃ、じゃ埋めいじわ。
メニコン 骨？
甘栗 骨。
ヤブ いろいろいじわいじわいじわの形にする。なにないね、レットかなんかの骨？
甘栗 ま、そんなやうなものよ。
メニコン 人間？
甘栗 早くやっつてよ。
ヤブ いろいろいじわ。形。
甘栗 形はうーん
ヤブ せつかく骨だからなー。あのほら、漫画みてえないろいろ骨の形を入れてあげようか？
ワフワフワ
甘栗 ハート型でもいじわ？
ヤブ しかじかよ。

甘栗 ダメ？ ハート型

ヤブ いいけど、年にあわねえんじゃねえの。

甘栗 いいからハート型にしてよ。ああ、もう絶対ハート型。

ヤブ わかったよ、うるせえな。じゃ来いよ入れてやるからさ

甘栗 ……ねえ痛いの？

ヤブ 特別に痛くしてやるよ

甘栗 やめよ。

産毛

甘栗のばあさんはその数年後に政治家の車に引かれて死んだ。あっけなく。金を命の単位にするじじいに対処するのじじいプリカードを掲げてもやあぎやあ騒いでる最中のことだ。俺はシベタに坐りながらそれをすべそばで見た。仰向けになったばあさんは頭が30センチより下にいついてしまって、俺はかわいそうだったから、壁にもたせかけてやって、この30センチ以上90センチ以下王国に留まらせてやりたかったんだけど、屋敷しすぎたころ、猫とカラスがやってきて、俺がばあさんにやった饑別のマックの袋を取り合いました。その拍子にはあさんの身体は倒れ、涙が流れてそれが水溜りになった。つなぎ服を着た役所の連中がばあさんを運ぶ時、ばあさんの身体は池に浮かんでるハスの花になってた。

小さな水の音が大きくなっていついて、海の音。

スープ：驟雨

雨。海の音。チー、カサ、キューが居る。カサは機嫌がすこぶる悪い。

カサ どこだ今度は。

キュー お墓だよ。

カサ お墓？ 何この音？

キュー 波の音。波ってわかる？

カサ 何だっけ？ なんかなつかしい音だね。

キュー でっかいスープ鍋で、スープがゆれる音。ザザーザザーで。

カサ あ、そうか海だったのか。

キュー そう海辺のお墓。

カサ なんでこんなじじい？

キュー 記憶もないし身体もない。あげくに親も兄弟もない。そういうじじいに来たの。

カサ 大丈夫だよ。大丈夫だよ俺は。何も無いってことばらいつすわかってた。なあ。俺達騙されてたんじゃねえの？

キュー どこだろじじい？

カサ 最初っからそういう風になってたんだよ。何も無い。なんにも無い。この沢山の墓標と

キユー も俺はなんの関係もないところから生まれてきた。そうなんですよ？
首を振る。

カサ 違うの？ 何の関係もない。何の関係もないよ！ なんとかいったらどうなんだ！
キユー ……。

カサ なんだよ、その目は。なんなんだよ、そんな顔すんなよ、俺を見るなよチー。
キユー キユーだよ。キユー。

キユー、困っている。

カサ チー、こんな潮風に吹かれてないで、家に帰ってあったかいスープでも飲もう。こんなところに居て、何度でも降りはじめるとこんな雨を浴び続けてたら絶対風邪引いちゃうよ、そうじゃないよ？

キユー、無言。

カサ チー。俺はいつかやってだんだんとバクッてきてかなりイマイチなってることにも大分なれては来たんだけどさ、たまーにね。無性に怖くなるときがあんだよ。この地上に生きているほかの人間とか動物とか、なんやかんやと俺だけなんか全く関係ないところに生れ落ちちゃったんじゃないかと思ってさ。チー。なんとか言ってくれ。俺は関係あるのかな？ この雨とか、この空とか、この海とか、チー、おまえとか。チー、おまえとかと、俺は関係あるのかな？ チー、何度でも聞いけど答えてくれよ。おまえと、俺はなんか関係あるのかな？

キユー ……うなづい。

カサ じゃあ最初っからそういえよ！

キユー 笑っている。

カサも少し笑う。

音楽。

カサ 俺たちは誰にも騙されなにかいない。生れてから、死ぬまでだ。そうなんだ。海の上にも。いつか海の上にもこの音楽が流れるようになる。そうなるように俺がする。DJ 四五六は俺の昔で、昔の流した音楽が今も地上30センチメートルから、90センチの高さでハイパー・ソニック・サウンドに乗って流れている。舟に乗ってのんびりしてる奴にこの音楽は聞えない。海面スレスレをアップアップしながら泳いでるような連中にも聞えない。飛び魚とかね。この音楽を聞けるのは飛び魚とか、そういうのだ。シャチャイルカみたいな海面からほんの少しだけジャンプしたところでもこの音楽が聞けるだろ。そわとちよおんな言めで俺と俺の友だちは今日もジバタにしゃがみ込んでつまねー顔しながらつまねー酒を飲ませる。そわとちよおんな言めで、

